

令和4年度  
小田原市市民意識調査報告書  
(速報版)

令和4年11月



# 1.調査の実施概要

## (1)調査の概要

- 調査対象:住民基本台帳に記載されている18歳以上の市民3,000名(無作為抽出)
- 調査期間:令和4年5月25日(水)～令和4年6月10日(金)
- 調査方法:調査票を郵送後、郵便およびオンラインで回収。
- 配布・回収:

配布数	回収数			回収率
	計	郵送	オンライン	
3,000票	1,755票	1,359票	396票	58.5%

### <参考>

- ・アンケートについては、回答の信頼性を高めるための配布数を設定しています。下表は、本市の人口(187,510人)をあてはめた場合の、統計学上必要とされる「信頼度」と「誤差」ごとに必要な回収数です。
- ・国の統計調査基準で求められる回収数は、「信頼度95%、誤差5%」ですが、今回の配布数(3,000)に対する回収数(1,755)は、「信頼度95%、誤差3%」であり、国の基準を上回る、高い信頼性が確保できた調査であると言えます。

		信頼度			
		90%	95%	99%	
誤差	3%	753	1,061	1,831	本調査は、この回収数を超えています。  国の統計調査基準で求められる回収数
	5%	271	383	663	
	10%	68	95	166	

## (2)地域別の送付数

地域別の調査票送付数は次のとおりです。

なお、本調査では26ある連合自治会区域を、小田原市都市マスタープランにおける6つの地域に区分し、集計を実施しています。

	送付数	送付割合	人口*	人口割合
片浦地域	33	1.1%	1,268	0.7%
中央地域	1,018	33.9%	61,877	33.0%
富水・桜井地域	628	20.9%	40,122	21.4%
川東・南部地域	722	24.1%	46,368	24.8%
川東・北部地域	414	13.8%	26,434	14.1%
橘地域	185	6.2%	11,423	6.1%
合計	3,000	100.0%	187,510	100.0%

※人口は令和4年4月1日現在の数値です。

### (3)年齢別の送付数

年齢別の調査票送付数は次のとおりです。

	送付数	送付割合	人口※1	人口割合
10歳代※2	66	2.2%	3,519	2.2%
20歳代	329	11.0%	16,710	10.4%
30歳代	353	11.8%	18,510	11.6%
40歳代	484	16.1%	25,542	16.0%
50歳代	521	17.4%	27,332	17.1%
60歳代	429	14.3%	23,227	14.5%
70歳代	480	16.0%	26,365	16.5%
80歳代以上	338	11.3%	18,807	11.8%
合計	3,000	100.0%	160,012	100.0%

※1 人口は年齢不明者を除く、令和4年1月1日現在の数値です。

※2 10歳代は18歳、19歳のみ。

### (4)調査の設問項目

この調査は、設問内容ごとに項目立て(A~C)を行い、全29問で構成しています。

#### A:あなたご自身について教えてください<11問>

性別、年齢、家族構成、住まいの地域、居住歴などについて

#### B:あなたが小田原市に対して持つイメージを教えてください<5問>

市への愛着、居住継続希望およびその理由などについて

#### C:あなたの暮らしについて教えてください<13問>

第6次小田原市総合計画「2030ロードマップ1.0」の重点施策「2.防災」、「5.歴史・文化」、「7.まちづくり」に関する内容について

### (5)報告書のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

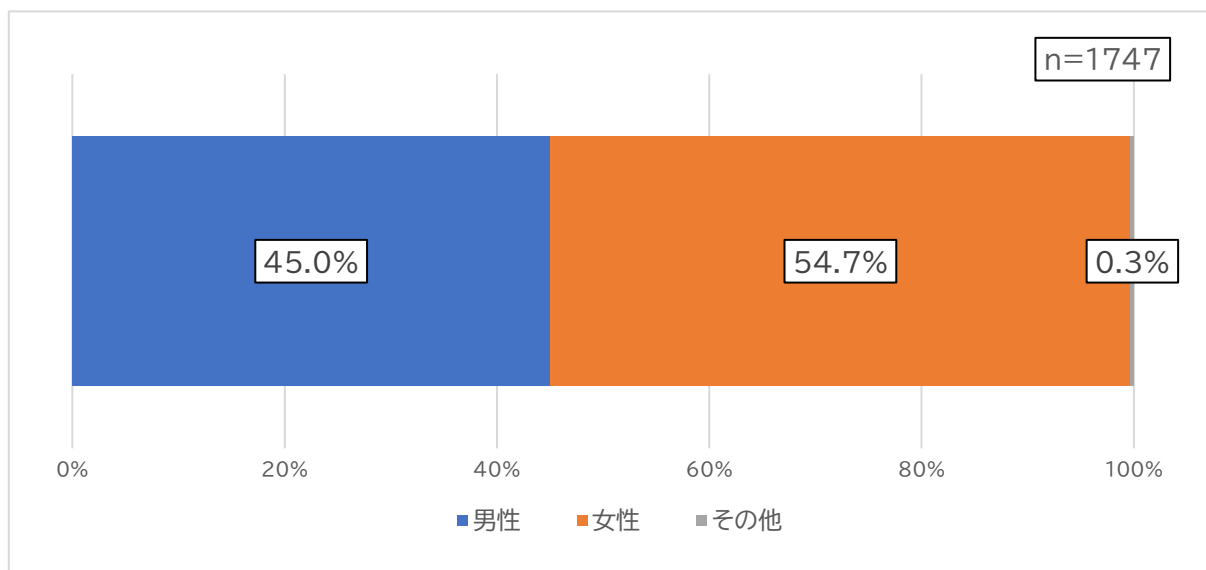
- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分比による集計では、回答者数(該当質問においては該当者数)を100%として算出しています。
- 本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しており、選択肢の割合の合計が100%にならない場合があります。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- 設問のなかには前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。

## 2.調査結果

### A. あなたご自身について教えてください

問1 あなたの性別を伺います。(1つに○)

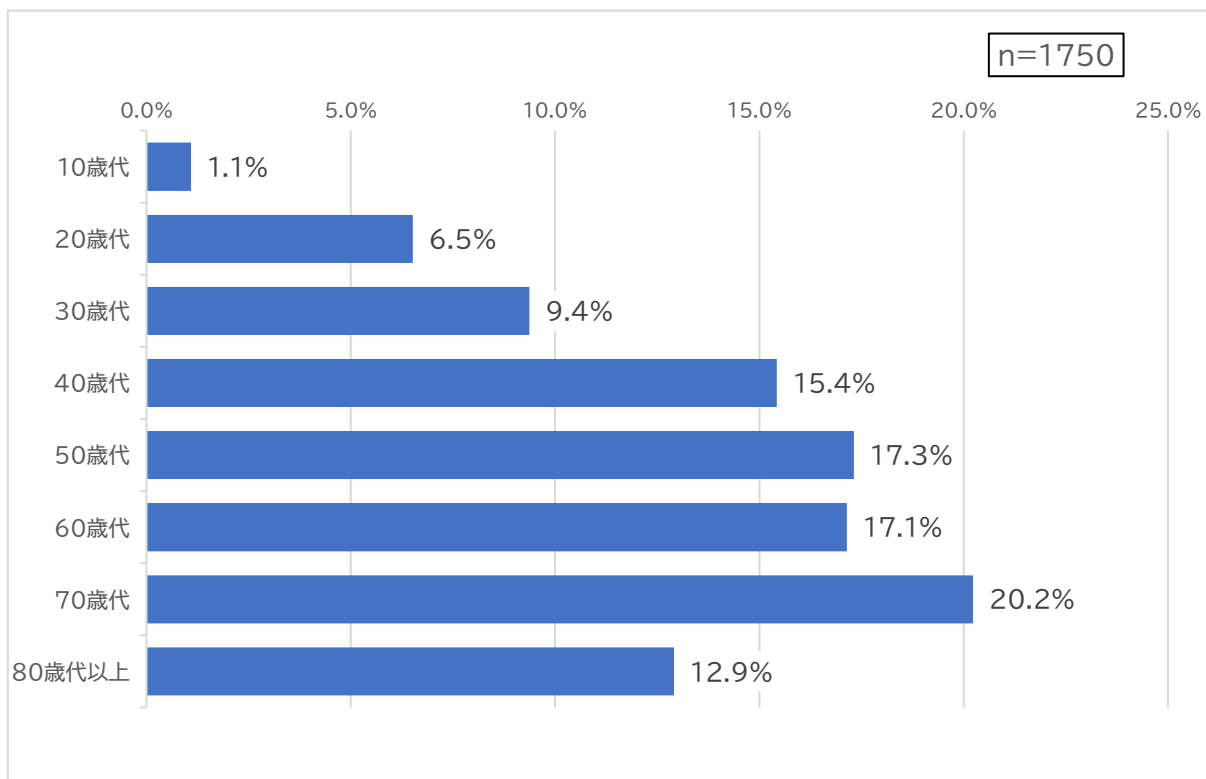
回答者の性別は、「男性」が 45.0%、「女性」が 54.7%となっています。



	回答数	割合
男性	786	45.0%
女性	956	54.7%
その他	5	0.3%

問2 あなたの年齢を伺います。(1つに○)

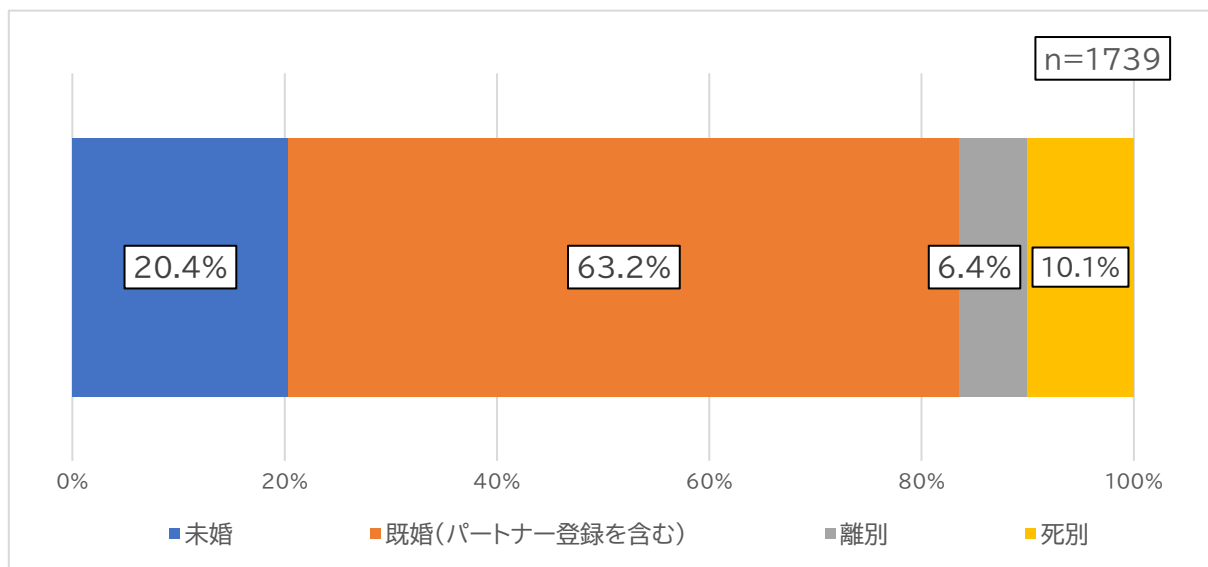
回答者の年齢は、「70 歳代」が 20.2%と最も高く、次いで「50 歳代」が 17.3%、「60 歳代」が 17.1%となっています。



	回答数	割合
10 歳代	19	1.1%
20 歳代	114	6.5%
30 歳代	164	9.4%
40 歳代	270	15.4%
50 歳代	303	17.3%
60 歳代	300	17.1%
70 歳代	354	20.2%
80 歳代以上	226	12.9%

問3 あなたは配偶者がいらっしゃいますか。(1つに○)

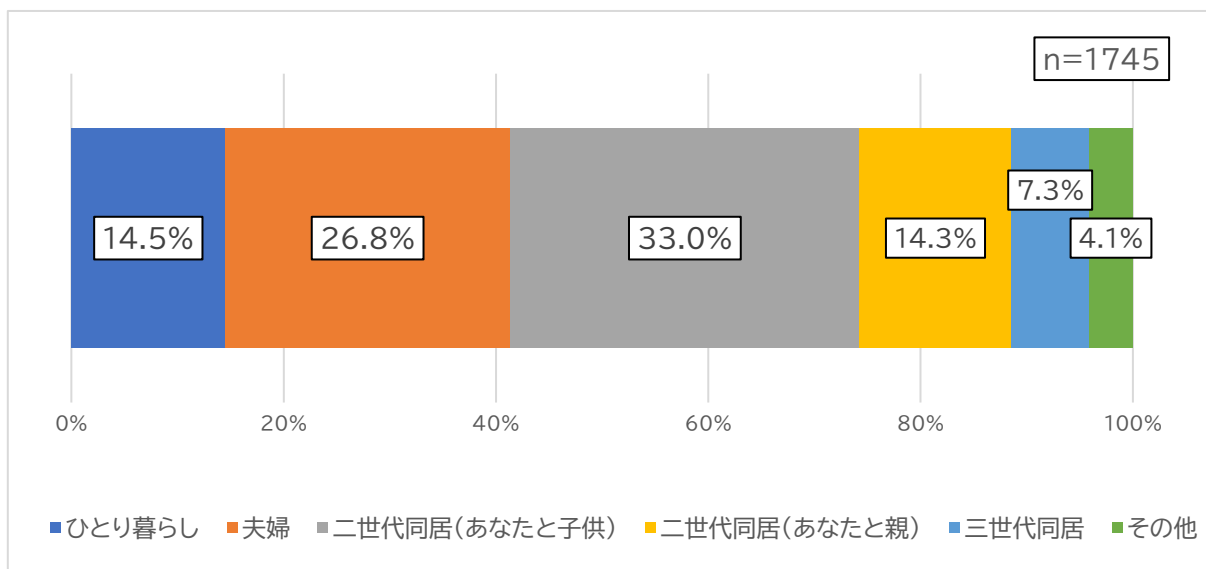
回答者は、「既婚」が63.2%と最も高く、次いで「未婚」が20.4%となっています。



	回答数	割合
未婚	354	20.4%
既婚(パートナー登録を含む)	1099	63.2%
離別	111	6.4%
死別	175	10.1%

問4 同居の家族構成を伺います。(1つに○)

同居の家族構成について、「子供と二世世代同居」(33.0%)が最も多く、次いで「夫婦」(26.8%)、「ひとり暮らし」(14.5%)、「親と二世世代同居」(14.3%)、「三世世代同居」(7.3%)となっています。

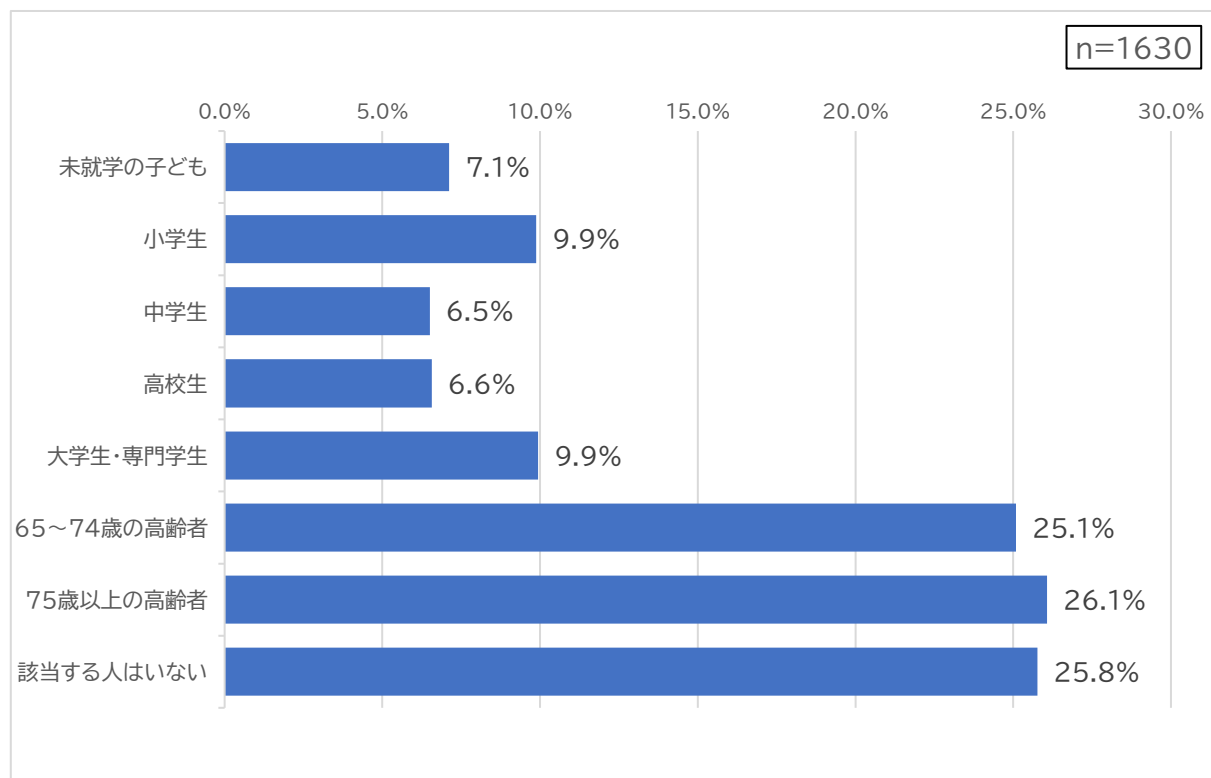


	回答数	割合
ひとり暮らし	253	14.5%
夫婦	468	26.8%
二世世代同居(あなたと子供)	575	33.0%
二世世代同居(あなたと親)	249	14.3%
三世世代同居	128	7.3%
その他	72	4.1%



問5 同居の家族には、次に当てはまる方がいらっしゃいますか。(あなた自身を含め、次の中からすべてに○)

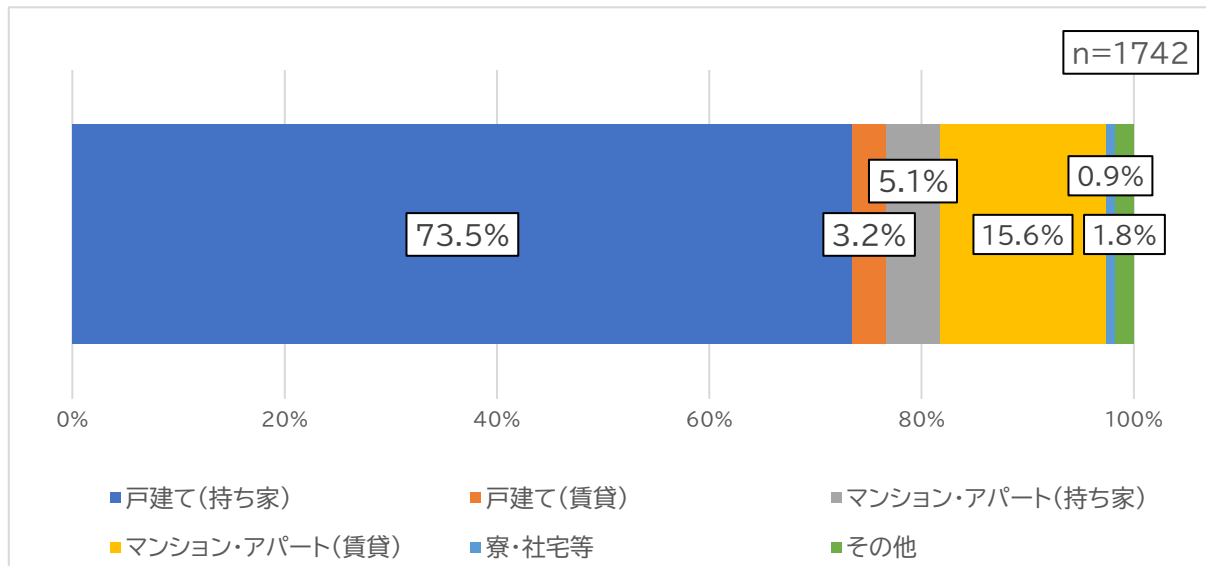
同居の家族について、「75 歳以上の高齢者」(26.1%)が最も多く、次いで「65～74 歳の高齢者」(25.1%)となっています。



	回答数	割合
未就学の子ども	116	7.1%
小学生	161	9.9%
中学生	106	6.5%
高校生	107	6.6%
大学生・専門学生	162	9.9%
65～74 歳の高齢者	409	25.1%
75 歳以上の高齢者	425	26.1%
該当する人はいない	420	25.8%

問6 あなたの居住形態はどれにあたりますか。(1つに○)

居住形態については、「戸建て(持ち家)」(73.5%)が最も多く、次いで「マンション・アパート(賃貸)」(15.6%)、「マンション・アパート(持ち家)」(5.1%)となっています。

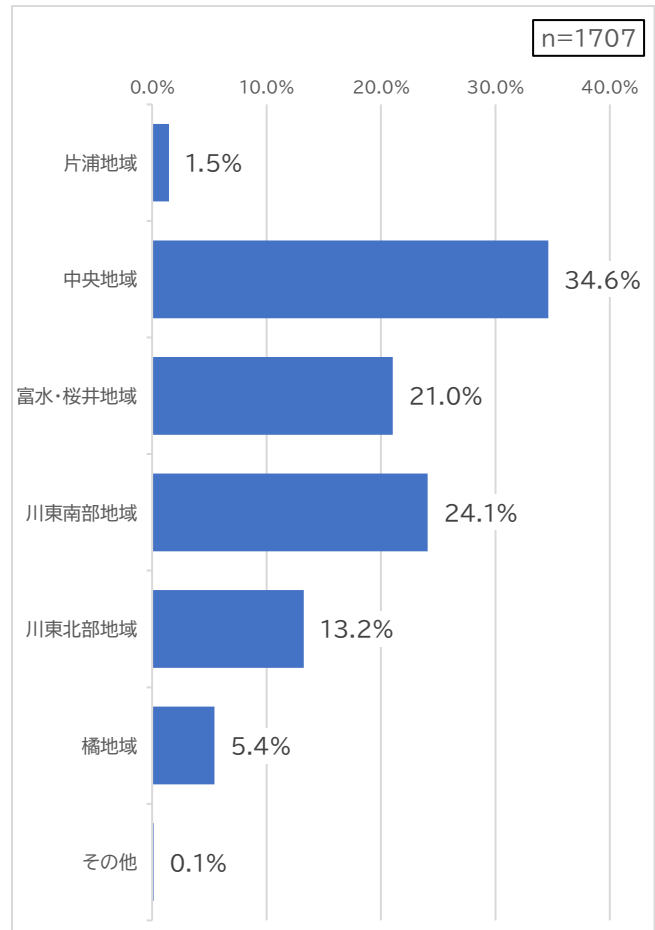
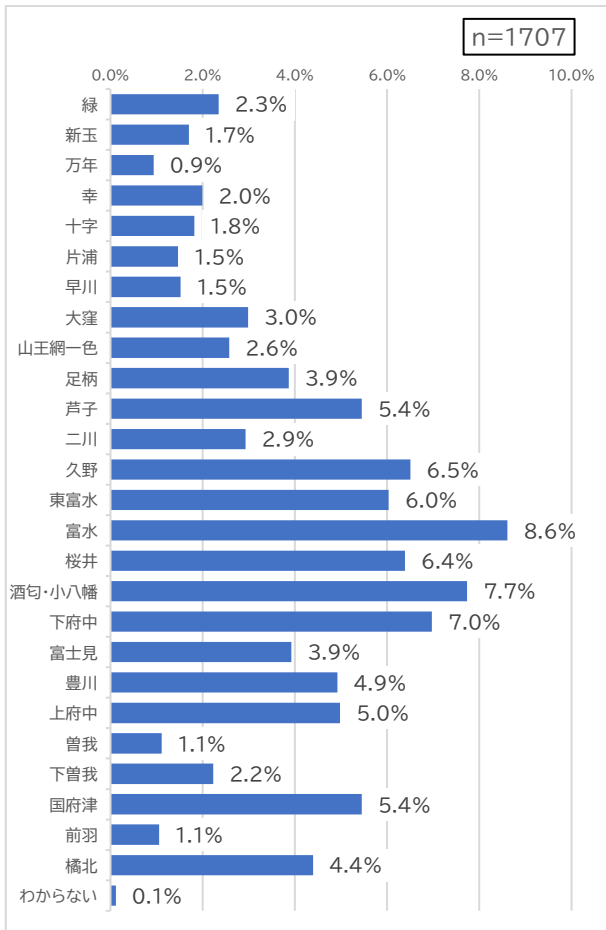


	回答数	割合
戸建て(持ち家)	1280	73.5%
戸建て(賃貸)	55	3.2%
マンション・アパート(持ち家)	89	5.1%
マンション・アパート(賃貸)	272	15.6%
寮・社宅等	15	0.9%
その他	31	1.8%

問 7 あなたの住まいは、どの連合自治会区域に含まれますか。(1つに○)

連合自治会区域については、富水地区(8.6%)が最も多く、次いで酒匂・小八幡地区(7.7%)、下府中地区(7.0%)となっています。

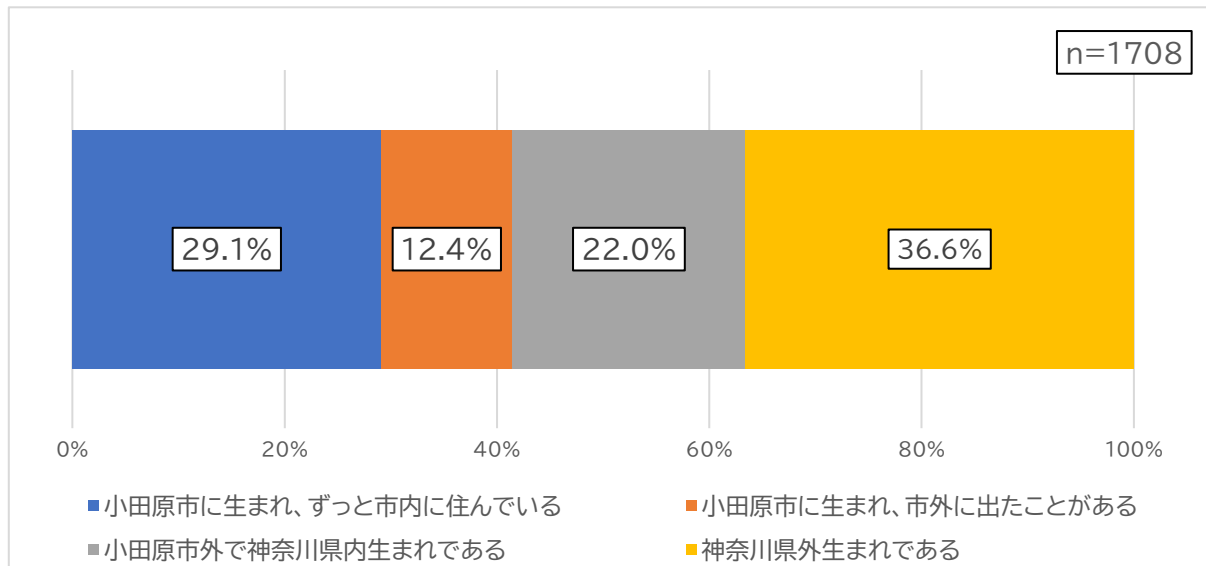
右の表は、小田原市都市マスタープランにおける6地域にまとめたものです。中央地域(34.6%)が最も多く、次いで川東南部地域(24.1%)となっています。



	回答数	割合
片浦地域	25	1.5%
中央地域	591	34.6%
富水・桜井地域	359	21.0%
川東南部地域	411	24.1%
川東北部地域	226	13.2%
橘地域	93	5.4%
その他	2	0.1%

問8 あなたの居住歴をお聞きします。(1つに○)

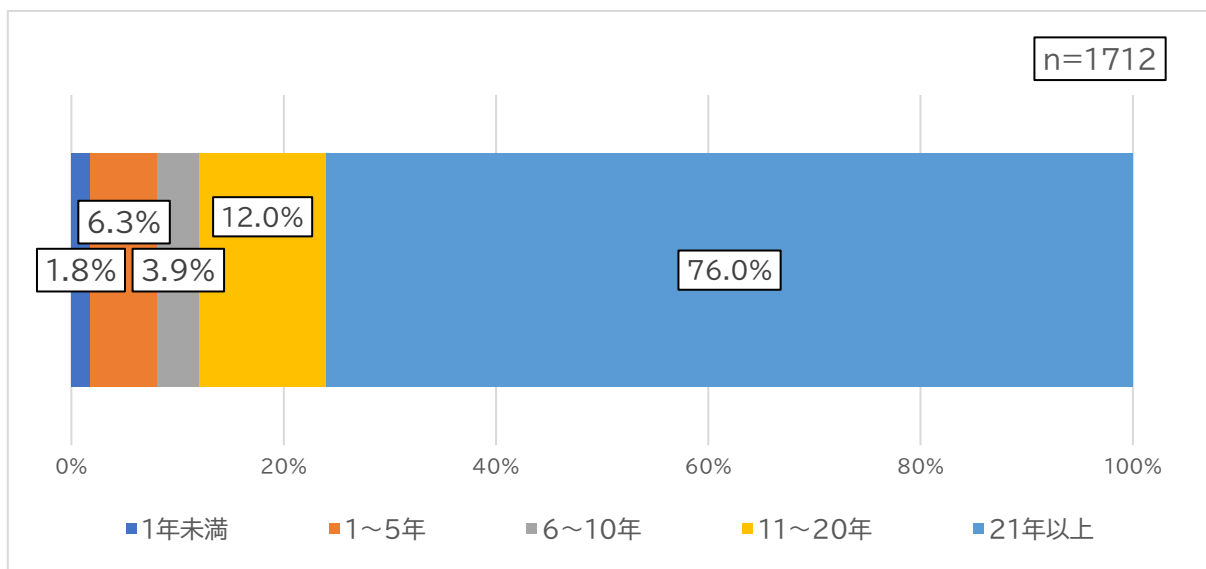
居住歴について、「県外生まれ」(36.6%)が最も多く、次いで「ずっと小田原市内」(29.1%)となっています。



	回答数	割合
小田原市に生まれ、ずっと市内に住んでいる	497	29.1%
小田原市に生まれ、市外に出たことがある	211	12.4%
小田原市外で神奈川県内生まれである	375	22.0%
神奈川県外生まれである	625	36.6%

問9 あなたは小田原市に居住して何年ですか。(1つに○)

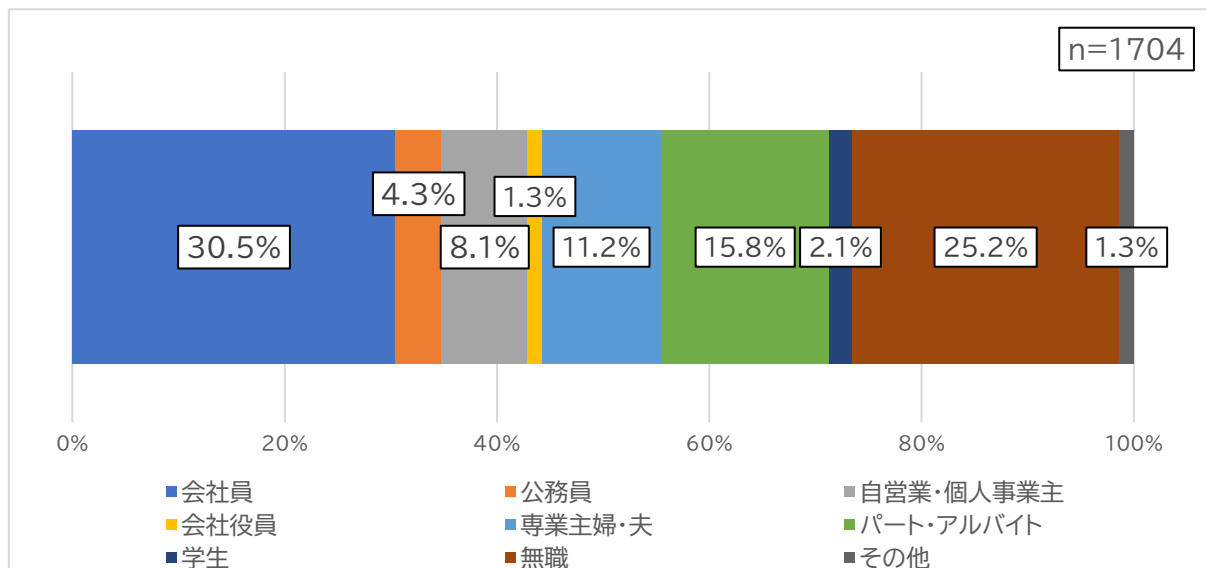
居住年数は、「21年以上」(76.0%)が最も多く、次いで「11～20年」(12.0%)、「1～5年」が(6.3%)、「6～10年」が(3.9%)となっています。



	回答数	割合
1年未満	31	1.8%
1～5年	108	6.3%
6～10年	67	3.9%
11～20年	205	12.0%
21年以上	1301	76.0%

問10 あなたの主な就業状況について伺います。(1つに〇)

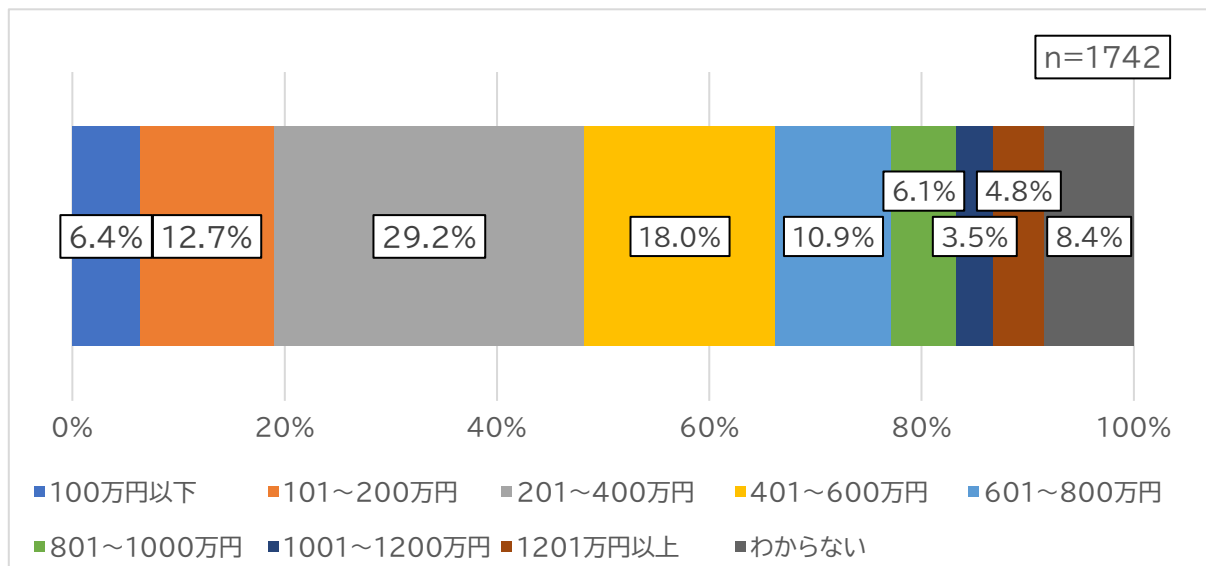
就業状況について、「会社員」(30.5%)が最も多く、次いで「無職」(25.2%)、「パート・アルバイト」(15.8%)となっています。



	回答数	割合
会社員	519	30.5%
公務員	74	4.3%
自営業・個人事業主	138	8.1%
会社役員	23	1.3%
専業主婦・夫	191	11.2%
パート・アルバイト	270	15.8%
学生	36	2.1%
無職	430	25.2%
その他	23	1.3%

問11 あなたの世帯収入(年金、配偶者の収入も含む)について伺います。(1つに○)

世帯年収について、「201万円～400万円」(29.2%)が最も多く、次いで「401万円～600万円」(18.0%)、「101万円～200万円」(12.7%)となっています。

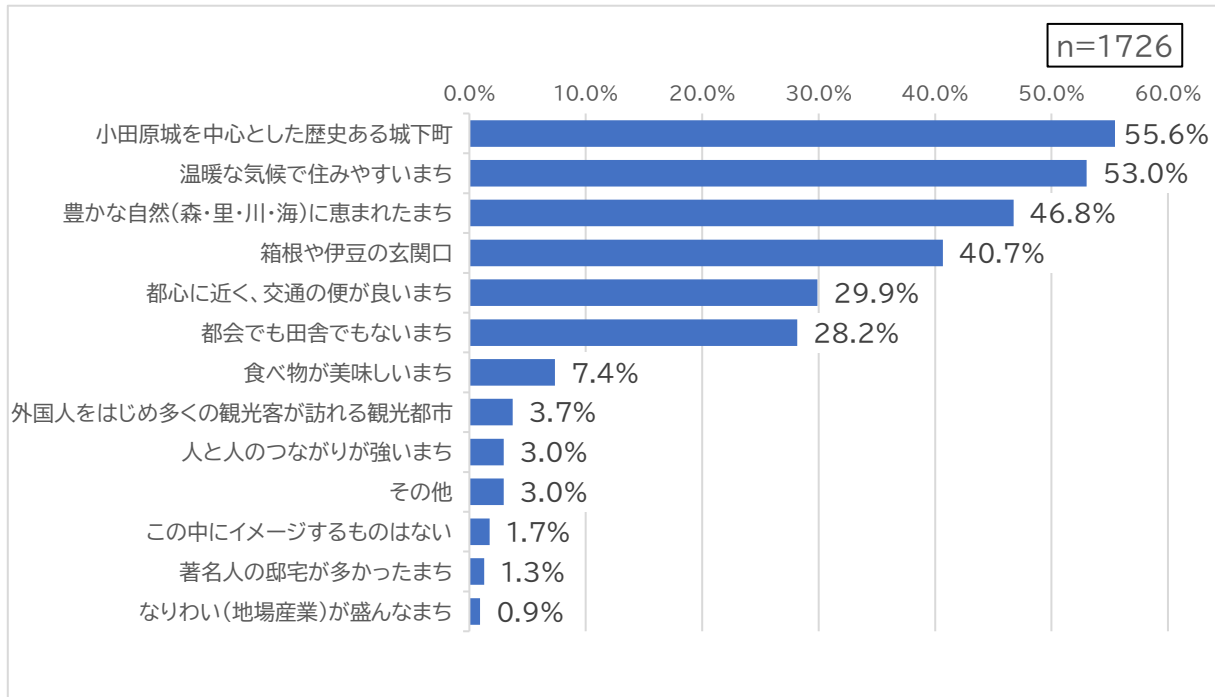


	回答数	割合
100万円以下	108	6.4%
101～200万円	215	12.7%
201～400万円	496	29.2%
401～600万円	306	18.0%
601～800万円	185	10.9%
801～1000万円	104	6.1%
1001～1200万円	59	3.5%
1201万円以上	82	4.8%
わからない	143	8.4%

## B:あなたが小田原市に対して持つイメージを教えてください

問12 小田原市に対してどんなイメージを持っていますか。(3 つまでに○)

小田原市のイメージは、「小田原城を中心とした歴史ある城下町」(55.6%)、「温暖な気候で住みやすいまち」(53.0%)、「豊かな自然(森・里・川・海)に恵まれたまち」(46.8%)が多くなっています。

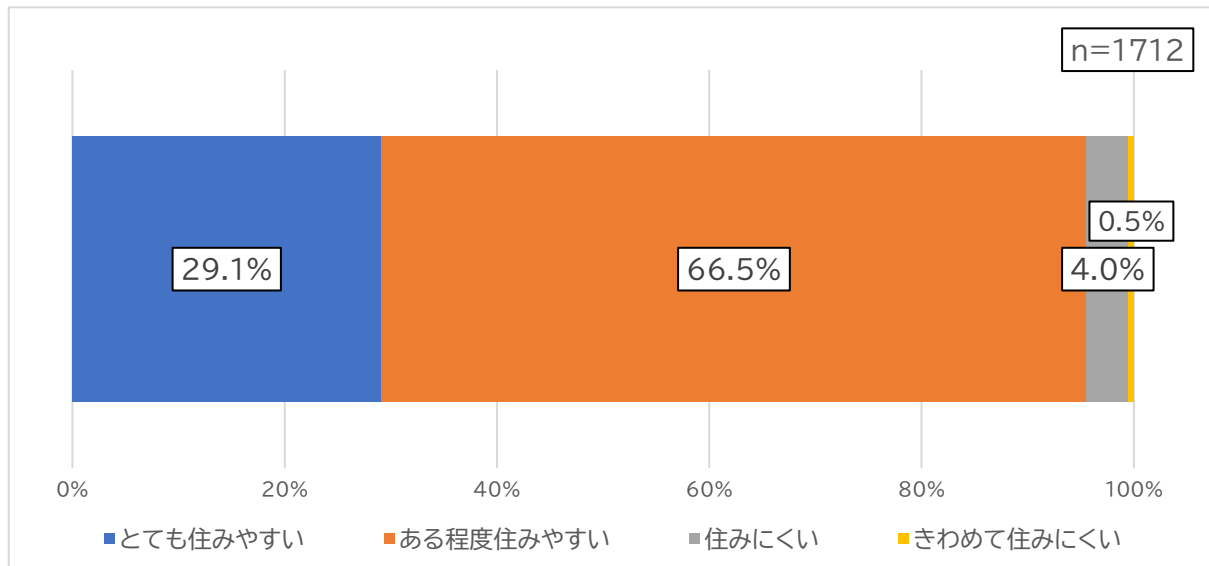


	回答数	割合
小田原城を中心とした歴史ある城下町	960	55.6%
温暖な気候で住みやすいまち	915	53.0%
豊かな自然(森・里・川・海)に恵まれたまち	807	46.8%
箱根や伊豆の玄関口	702	40.7%
都心に近く、交通の便が良いまち	516	29.9%
都会でも田舎でもないまち	486	28.2%
食べ物が美味しいまち	127	7.4%
外国人をはじめ多くの観光客が訪れる観光都市	64	3.7%
人と人のつながりが強いまち	51	3.0%
この中にイメージするものはない	30	1.7%
著名人の邸宅が多かったまち	22	1.3%
なりわい(地場産業)が盛んなまち	16	0.9%
その他	51	3.0%



問13 小田原市は、住みやすいまちですか。(1つに〇)

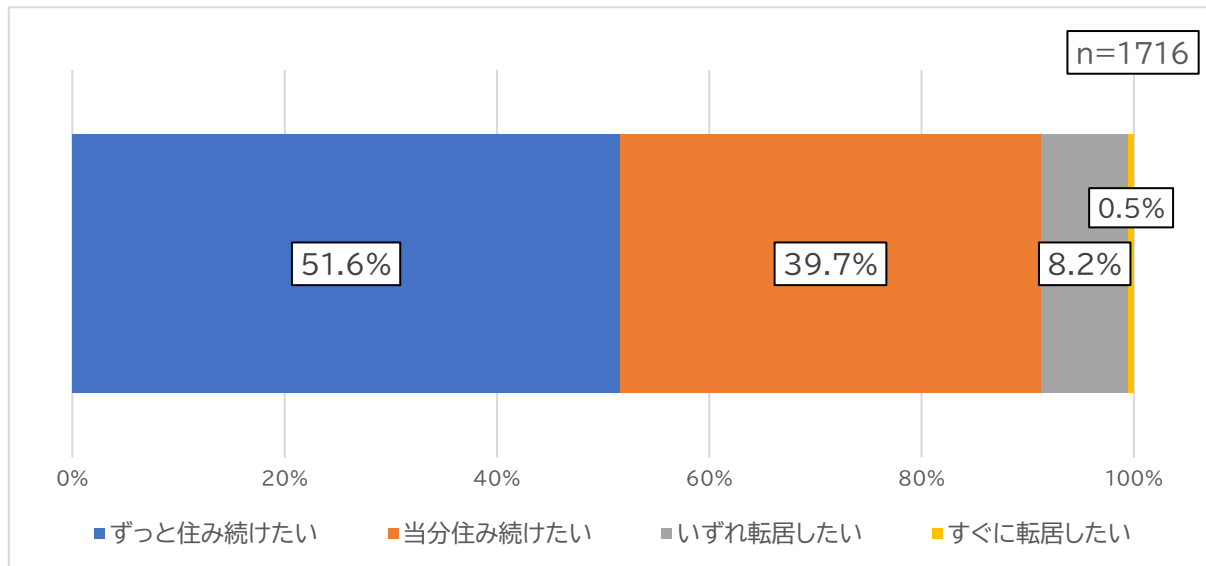
小田原市について、66.5%が「ある程度住みやすい」、29.1%が「とても住みやすい」と、全体として95.6%の人が住みやすいと回答しました。



	回答数	割合
とても住みやすい	498	29.1%
ある程度住みやすい	1138	66.5%
住みにくい	68	4.0%
きわめて住みにくい	8	0.5%

問14 今後も小田原市に住み続けたいですか。(1つに○)

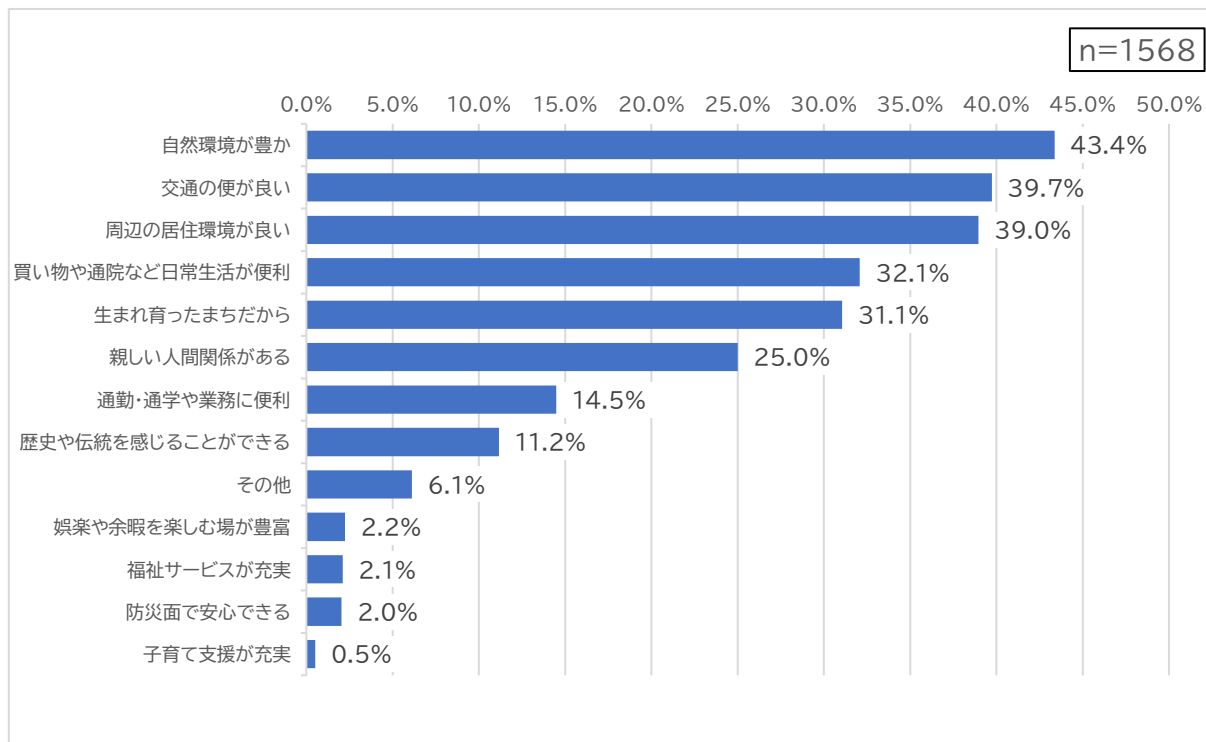
今後も小田原市に住み続けたいかについて、90%以上が住み続けたい(「ずっと住み続けたい」、「当分住み続けたい」と回答しました。



	回答数	割合
ずっと住み続けたい	885	51.6%
当分住み続けたい	681	39.7%
いずれ転居したい	141	8.2%
すぐに転居したい	9	0.5%

問 15-A 問 14 で、「1. ずっと住みたい」または「2. 当分住みたい」を選んだ方に伺います。その理由は何ですか。(3 つまでに○)

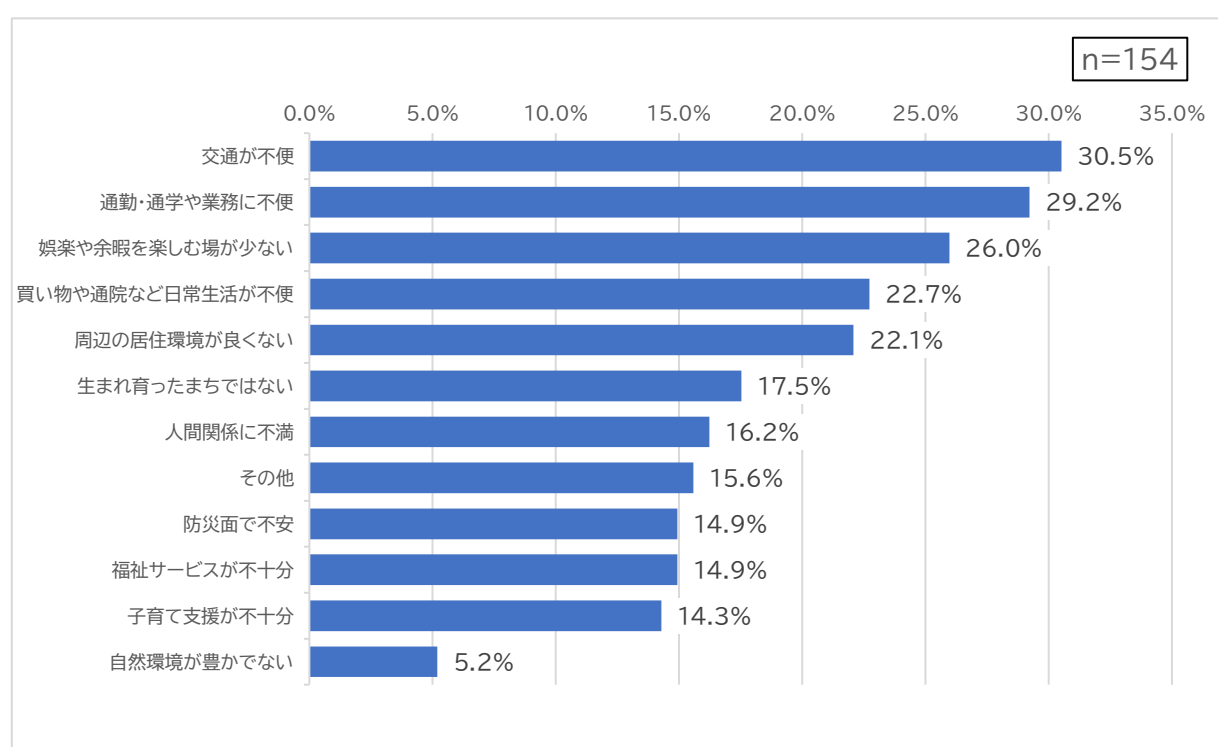
住みたい理由として、「自然環境が豊か」(43.4%)、「交通の便が良い」(39.7%)、「周辺の住環境が良い」(39.0)となっています。



	回答数	割合
自然環境が豊か	680	43.4%
交通の便が良い	623	39.7%
周辺の住環境が良い	611	39.0%
買い物や通院など日常生活が便利	503	32.1%
生まれ育ったまちだから	487	31.1%
親しい人間関係がある	392	25.0%
通勤・通学や業務に便利	227	14.5%
歴史や伝統を感じることができる	175	11.2%
娯楽や余暇を楽しむ場が豊富	35	2.2%
福祉サービスが充実	33	2.1%
防災面で安心できる	32	2.0%
子育て支援が充実	8	0.5%
その他	96	6.1%

問 15-B 問 14 で、「3. いずれ転居したい」または「4. すぐに転居したい」を選んだ方に伺います。その理由は何ですか。(3 つまでに○)

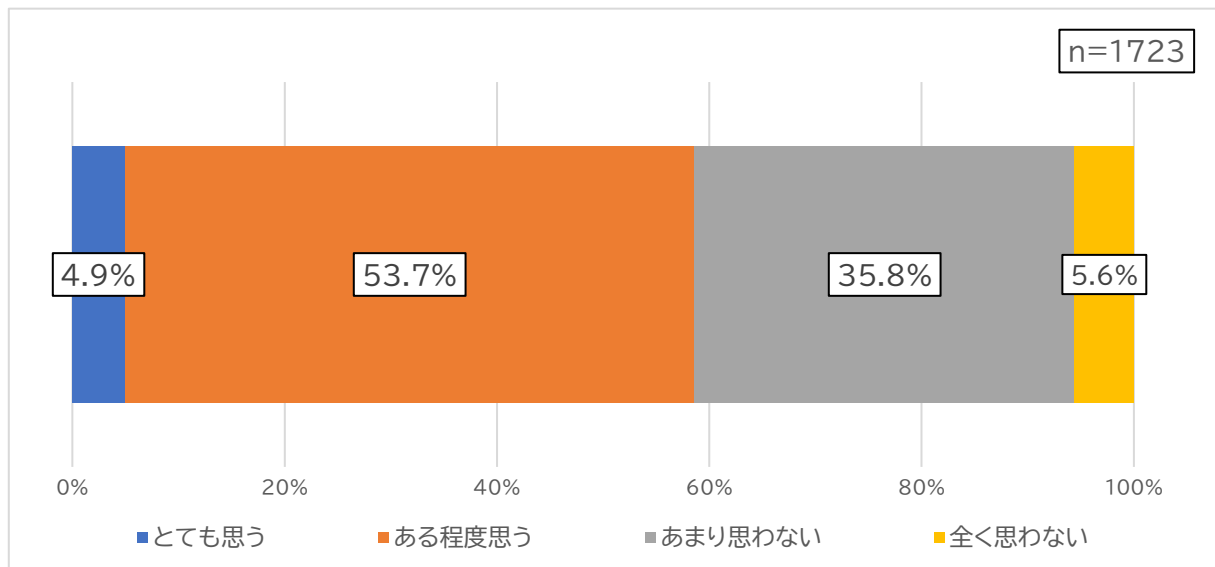
転居したい理由として、「交通が不便」(30.5%)、「通勤・通学や業務に不便」(29.2%)、「娯楽や余暇を楽しむ場が少ない」(26.0%)となっています。



	回答数	割合
交通が不便	47	30.5%
通勤・通学や業務に不便	45	29.2%
娯楽や余暇を楽しむ場が少ない	40	26.0%
買い物や通院など日常生活が不便	35	22.7%
周辺の居住環境が良くない	34	22.1%
生まれ育ったまちではない	27	17.5%
人間関係に不満	25	16.2%
福祉サービスが不十分	23	15.6%
防災面で不安	23	14.9%
子育て支援が不十分	22	14.9%
自然環境が豊かでない	8	14.3%
その他	24	5.2%

問16 小田原市は、小田原の強みを生かしたまちづくりができていると思いますか。(1 つに ○)

小田原市の強みを生かしたまちづくりができているかについて、「ある程度思う」(53.7%)が最も多く、次いで「あまり思わない」(35.8%)、「全く思わない」(5.6%)となっています。

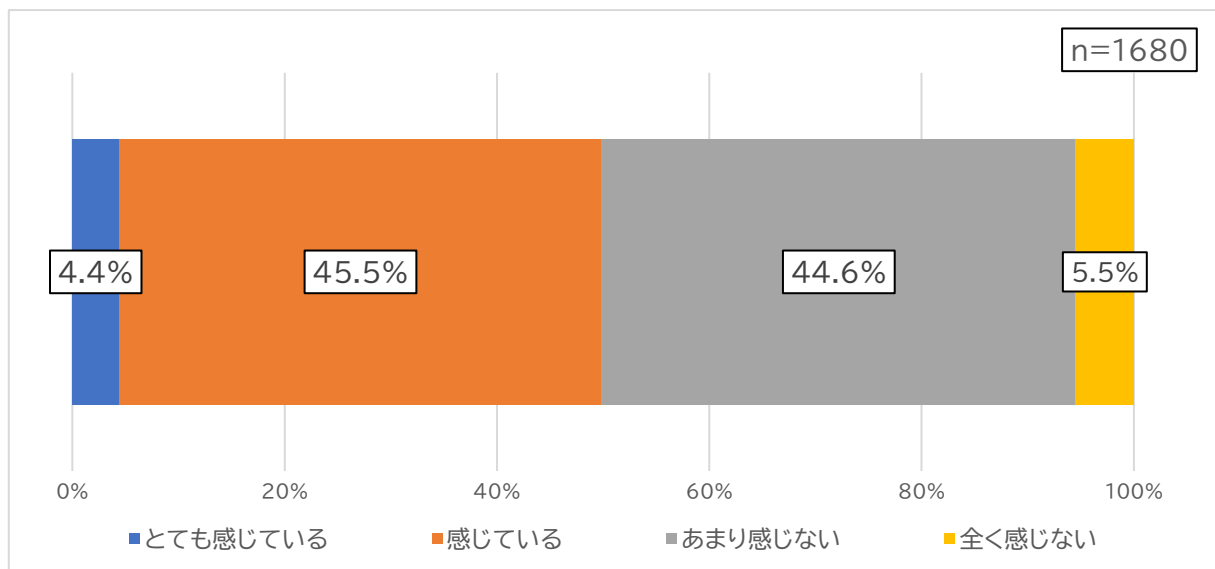


	回答数	割合
とても思う	85	4.9%
ある程度思う	925	53.7%
あまり思わない	617	35.8%
全く思わない	96	5.6%

## C. あなたの暮らしについて教えてください

問17 あなたは、小田原駅周辺に居心地の良さを感じていますか。(1つに○)

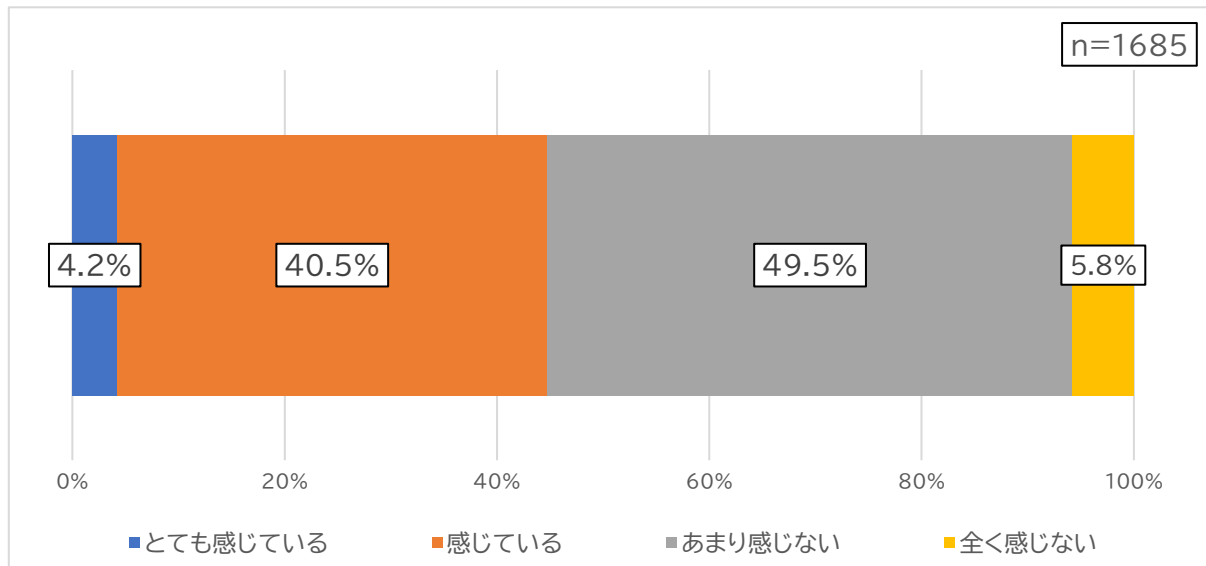
小田原駅周辺について、居心地の良さを感じている(「とても感じている」、「感じている」)人と、感じていない(「あまり感じていない」、「全く感じていない」)人はほぼ同数となっています。



	回答数	割合
とても感じている	74	4.4%
感じている	764	45.5%
あまり感じていない	750	44.6%
全く感じていない	92	5.5%

問18 あなたは、小田原駅周辺のにぎわいを感じていますか。(1つに○)

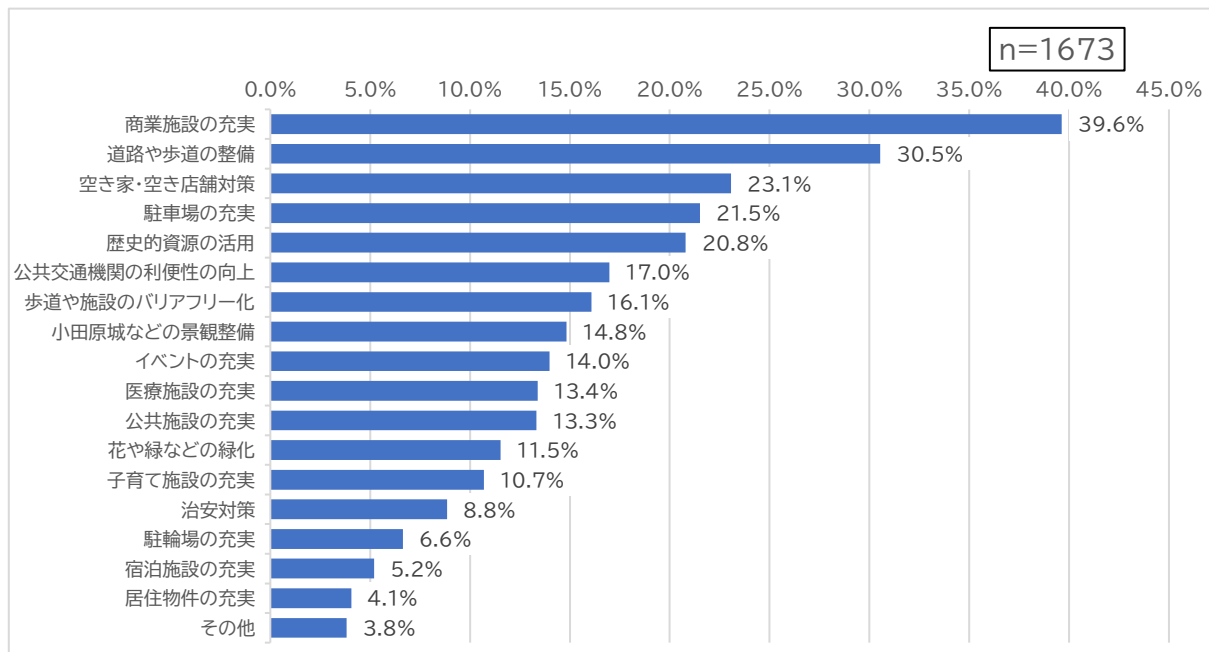
小田原駅周辺のにぎわいについて、感じている(「とても感じている」、「感じている」)人と、感じていない(「あまり感じていない」、「全く感じていない」)人はほぼ同数となっています。



	回答数	割合
とても感じている	71	4.2%
感じている	683	40.5%
あまり感じていない	834	49.5%
全く感じていない	97	5.8%

問19 あなたは、小田原駅周辺のまちづくりには何が重要だと思いますか。(3つまでに○)

小田原駅周辺のまちづくりに必要なものについて、「商業施設の充実」(39.6%)が最も多く、次いで「道路や歩道の整備」(30.5%)となっています。

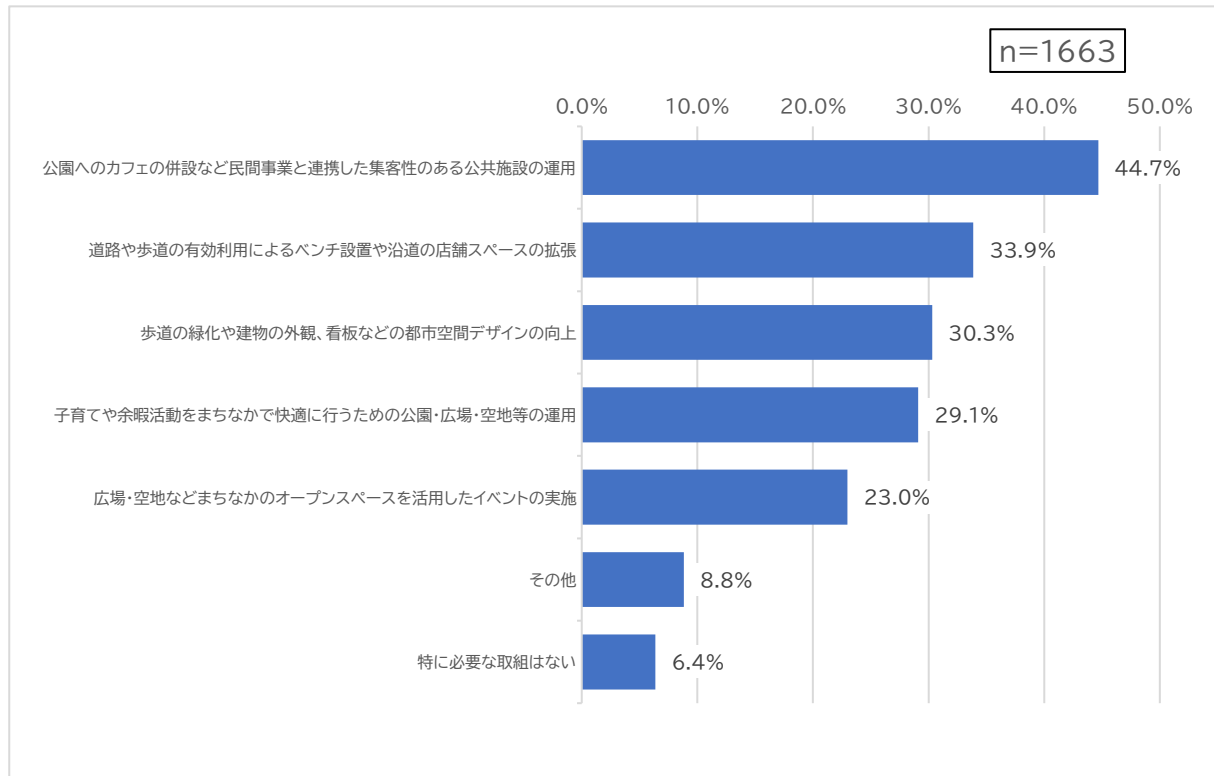


	回答数	割合
商業施設の充実	663	39.6%
道路や歩道の整備	511	30.5%
空き家・空き店舗対策	386	23.1%
駐車場の充実	360	21.5%
歴史的資源の活用	348	20.8%
公共交通機関の利便性の向上	284	17.0%
歩道や施設のバリアフリー化	269	16.1%
小田原城などの景観整備	248	14.8%
イベントの充実	234	14.0%
医療施設の充実	224	13.4%
公共施設の充実	223	13.3%
花や緑などの緑化	193	11.5%
子育て施設の充実	179	10.7%
治安対策	148	8.8%
駐輪場の充実	111	6.6%
宿泊施設の充実	87	5.2%
居住物件の充実	68	4.1%
その他	64	3.8%



問20 あなたは、小田原駅周辺の居心地の良さにぎわいの創出に向けた、今後の取組として何が効果的だと思いますか。(2 つまでに○)

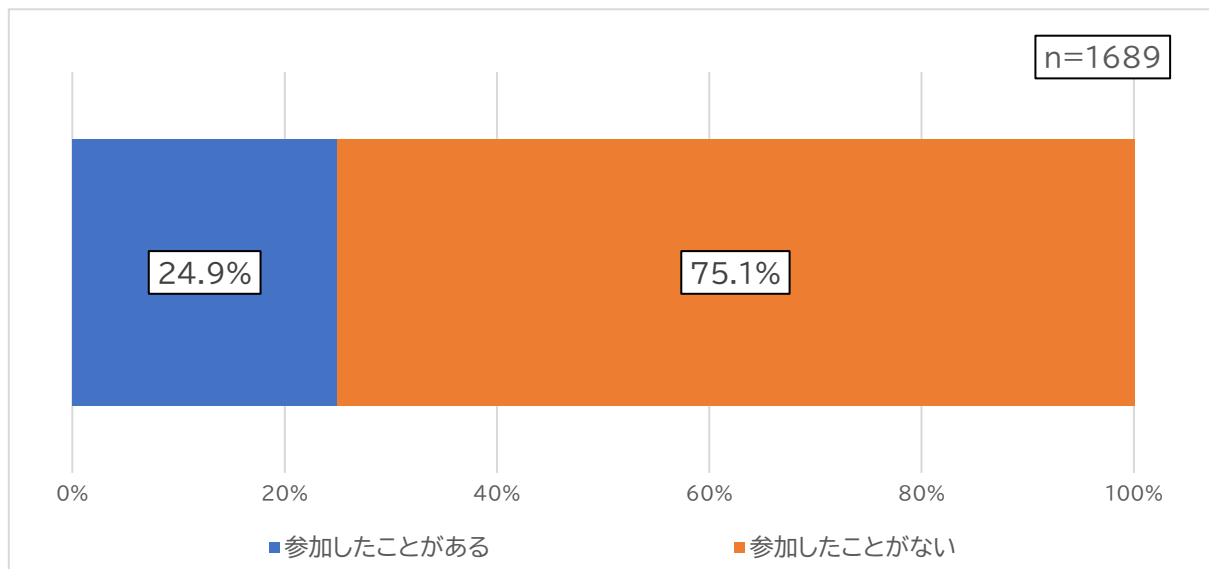
小田原駅周辺の居心地の良さにぎわいの創出に向けた今後の取組について、「公園へのカフェの併設など民間事業と連携した集客性のある公共施設の運用」(44.7%)が最も高く、次いで「道路や歩道の有効利用によるベンチ設置や沿道の店舗スペースの拡張」(33.9%)、「歩道の緑化や建物の外観、看板などの都市空間デザインの向上」(30.3%)となっています。



	回答数	割合
公園へのカフェの併設など民間事業と連携した集客性のある公共施設の運用	743	44.7%
道路や歩道の有効利用によるベンチ設置や沿道の店舗スペースの拡張	563	33.9%
歩道の緑化や建物の外観、看板などの都市空間デザインの向上	504	30.3%
子育てや余暇活動をまちなかで快適に行うための公園・広場・空地等の運用	484	29.1%
広場・空地などまちなかのオープンスペースを活用したイベントの実施	382	23.0%
特に必要な取組はない	106	6.4%
その他	147	8.8%

問21 あなたは、ここ5年以内で防災訓練に参加したことがありますか。(1つに○)

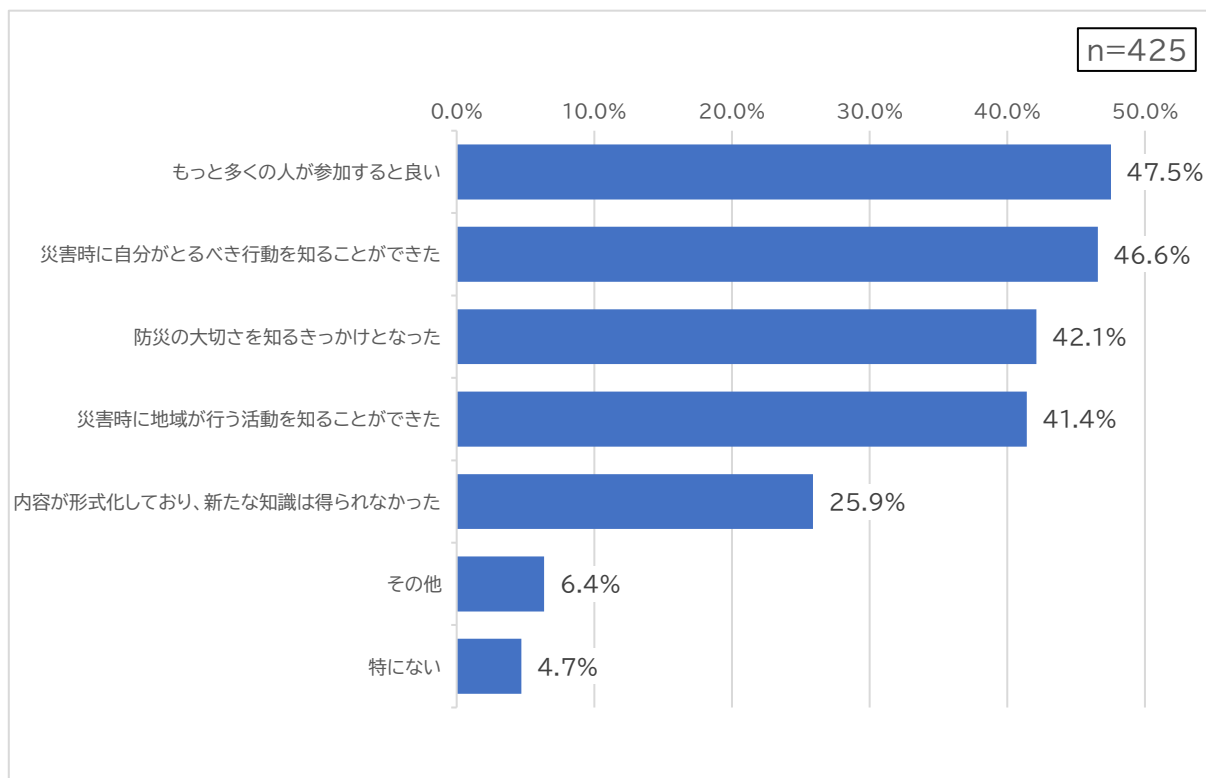
5年以内での防災訓練の参加について、75.1%が「参加したことがない」と回答しました。



	回答数	割合
参加したことがある	421	24.9%
参加したことがない	1268	75.1%

問 22-A 問 21 で、「1. 参加したことがある」を選んだ方に伺います。防災訓練に参加したことでどのようなことを感じましたか。(3 つまでに○)

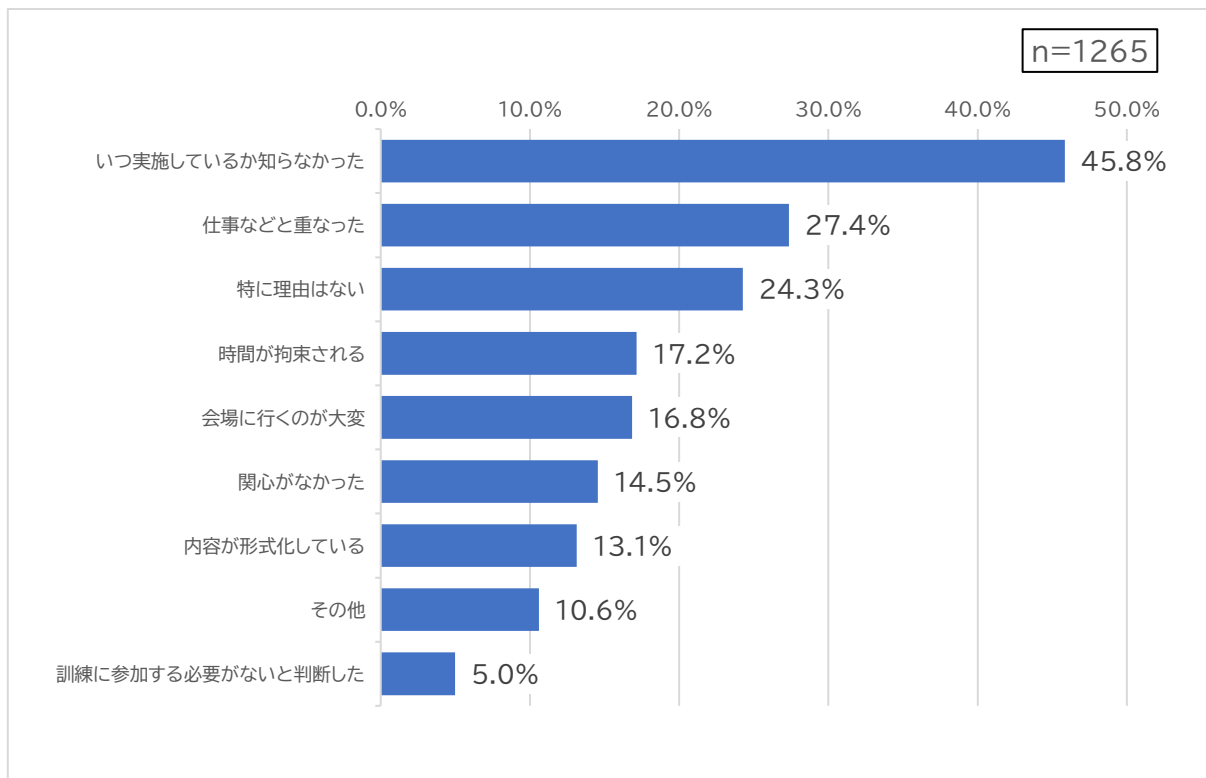
「災害時に自分がとるべき行動を知ることができた」など、40%以上の方が防災訓練に参加したことを有意義であったと回答し、「もっと多くの人が参加すると良い」と回答した人は 47.5%となっています。



	回答数	割合
もっと多くの人が参加すると良い	202	47.5%
災害時に自分がとるべき行動を知ることができた	198	46.6%
防災の大切さを知るきっかけとなった	179	42.1%
災害時に地域が行う活動を知ることができた	176	41.4%
内容が形式化しており、新たな知識は得られなかった	110	25.9%
特にない	20	4.7%
その他	27	6.4%

問 22-B 問 21 で、「2. 参加したことがない」を選んだ方に伺います。その理由は何ですか。(3つまでに○)

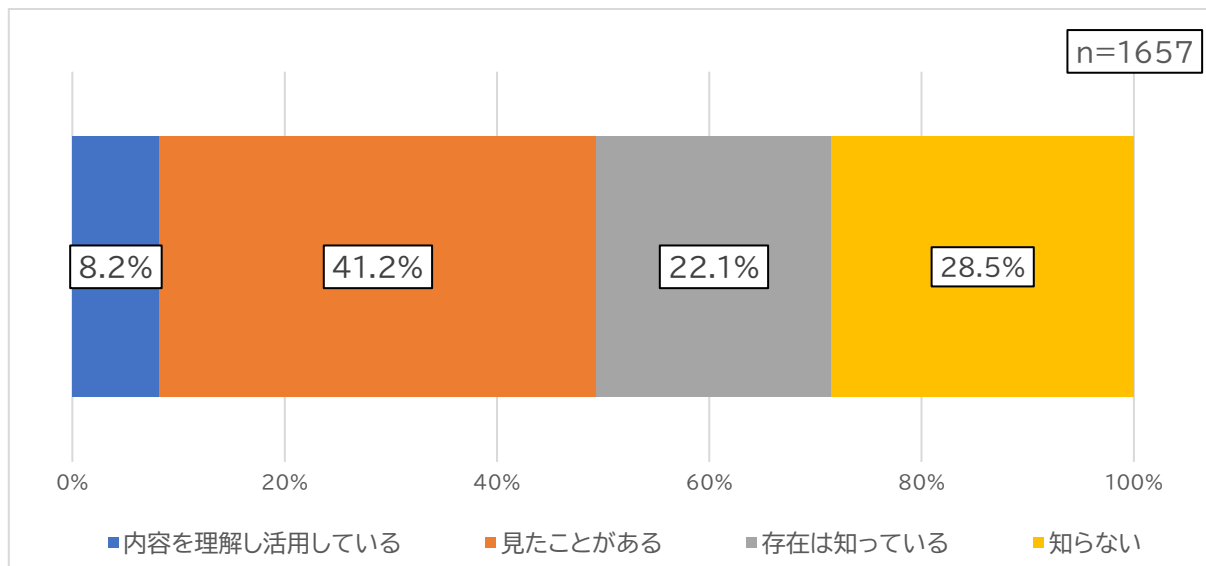
防災訓練に参加しない理由は、「いつ実施しているのかわからなかった」(45.8%)が最も多く、次いで「仕事などと重なった」(27.4%)となっています。



	回答数	割合
いつ実施しているのかわからなかった	580	45.8%
仕事などと重なった	346	27.4%
特に理由はない	307	24.3%
時間が拘束される	217	17.2%
会場に行くのが大変	213	16.8%
関心がなかった	184	14.5%
内容が形式化している	166	13.1%
訓練に参加する必要があると判断した	63	5.0%
その他	134	10.6%

問23 あなたは、市が配布している「わが家の避難行動マニュアル」を知っていますか。(1つに○)

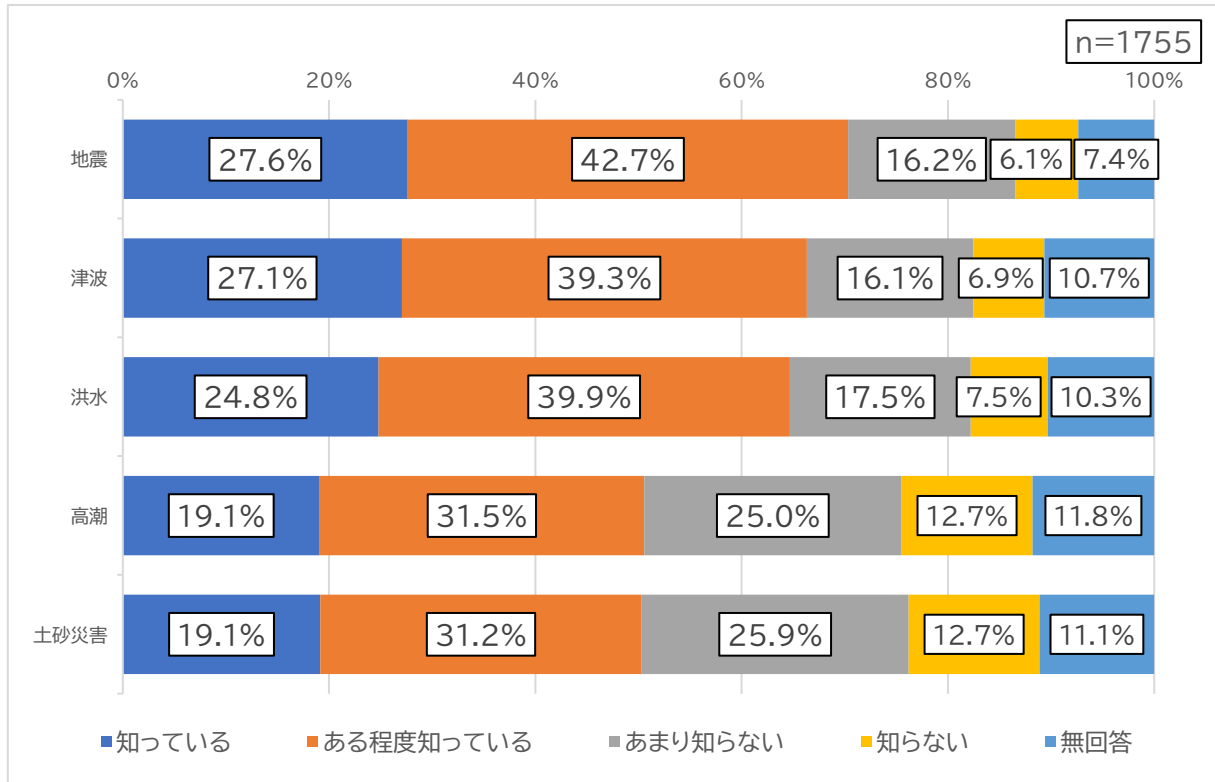
「わが家の避難行動マニュアル」について、「内容を理解し活用している」(8.2%)、「見たことがある」(41.2%)、「存在は知っている」(22.1%)、「知らない」(28.5%)となっています。



	回答数	割合
内容を理解し活用している	136	8.2%
見たことがある	682	41.2%
存在は知っている	367	22.1%
知らない	472	28.5%

問24 あなたは、以下の自然災害が発生した際に、自宅(住んでいる場所)にどのようなリスクがあるか知っていますか。(1つに○)

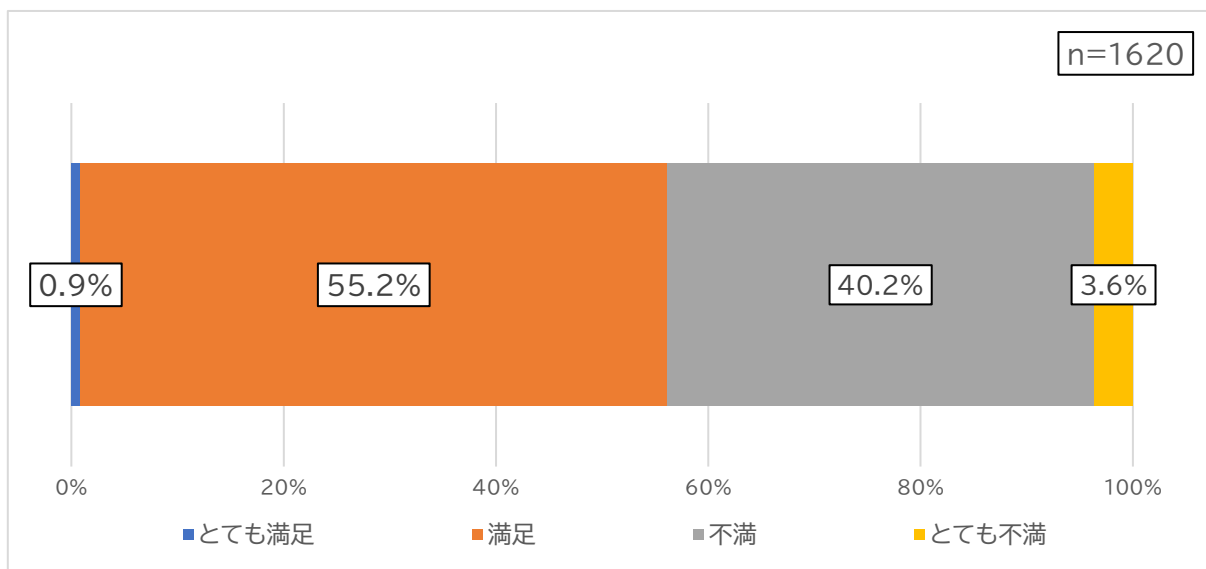
地震、津波、洪水の際のリスクについては、知っている(「知っている」、「ある程度知っている」)人は60%を超えていますが、高潮、土砂災害の際のリスクについては、知らない(「あまり知らない」、「知らない」)人がやや多くなっています。



	地震		津波		洪水		高潮		土砂災害	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
知っている	485	27.6%	475	27.1%	435	24.8%	335	19.1%	336	19.1%
ある程度知っている	749	42.7%	689	39.3%	700	39.9%	552	31.5%	547	31.2%
あまり知らない	285	16.2%	283	16.1%	308	17.5%	438	25.0%	454	25.9%
知らない	107	6.1%	121	6.9%	131	7.5%	223	12.7%	223	12.7%
無回答	129	7.4%	187	10.7%	181	10.3%	207	11.8%	195	11.1%

問25 小田原市が実施する、防災対策の取組に対する満足度を教えてください。(1つに○)

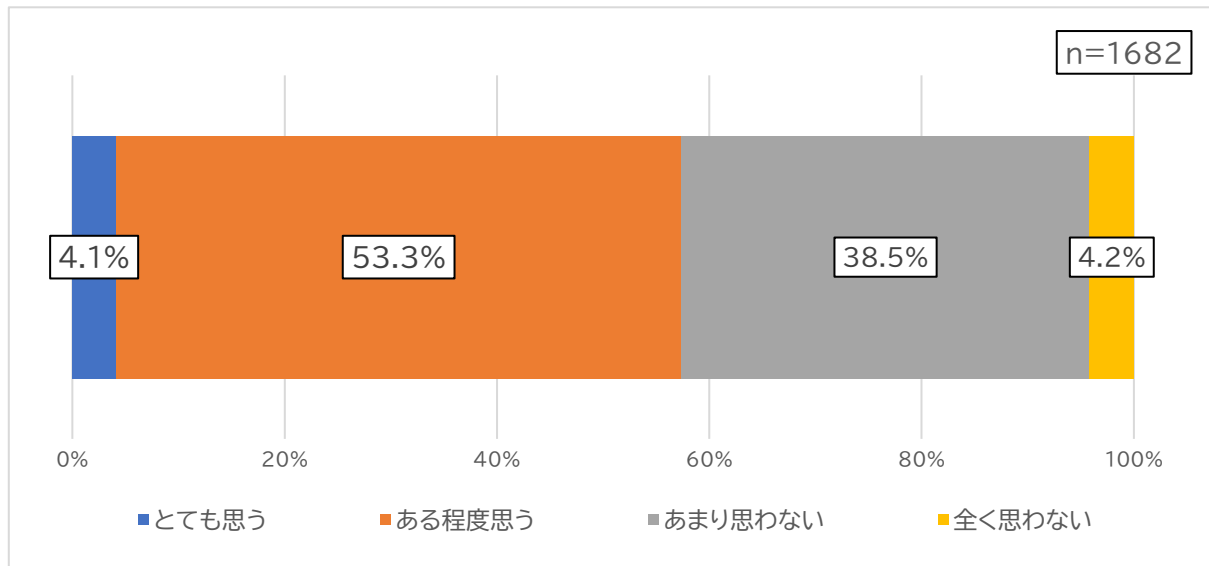
防災対策の取組への満足度について、満足(「とても満足」、「満足」)している人と、不満(「不満」、「とても不満」)な人はほぼ同数となっています。



	回答数	割合
とても満足	14	0.9%
満足	895	55.2%
不満	652	40.2%
とても不満	59	3.6%

問26 小田原は、文化・芸術に触れる機会が整っていると思いますか。(1つに○)

小田原は、文化・芸術に触れる機会について、整っていると思う(「とても思う」、「ある程度思う」)人と、整っていないと思う(「あまり思わない」、「全く思わない」)人はほぼ同数となっています。

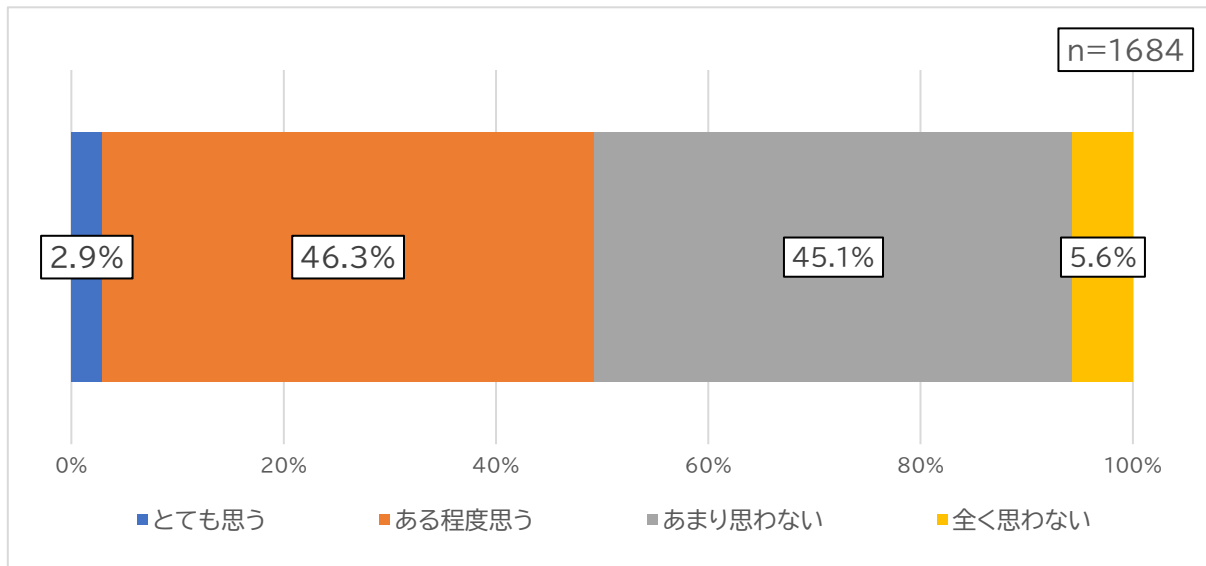


	回答数	割合
とても思う	69	4.1%
ある程度思う	895	53.3%
あまり思わない	647	38.5%
全く思わない	70	4.2%



問27 小田原には、スポーツ活動を行う場が整っていると思いますか。(1つに○)

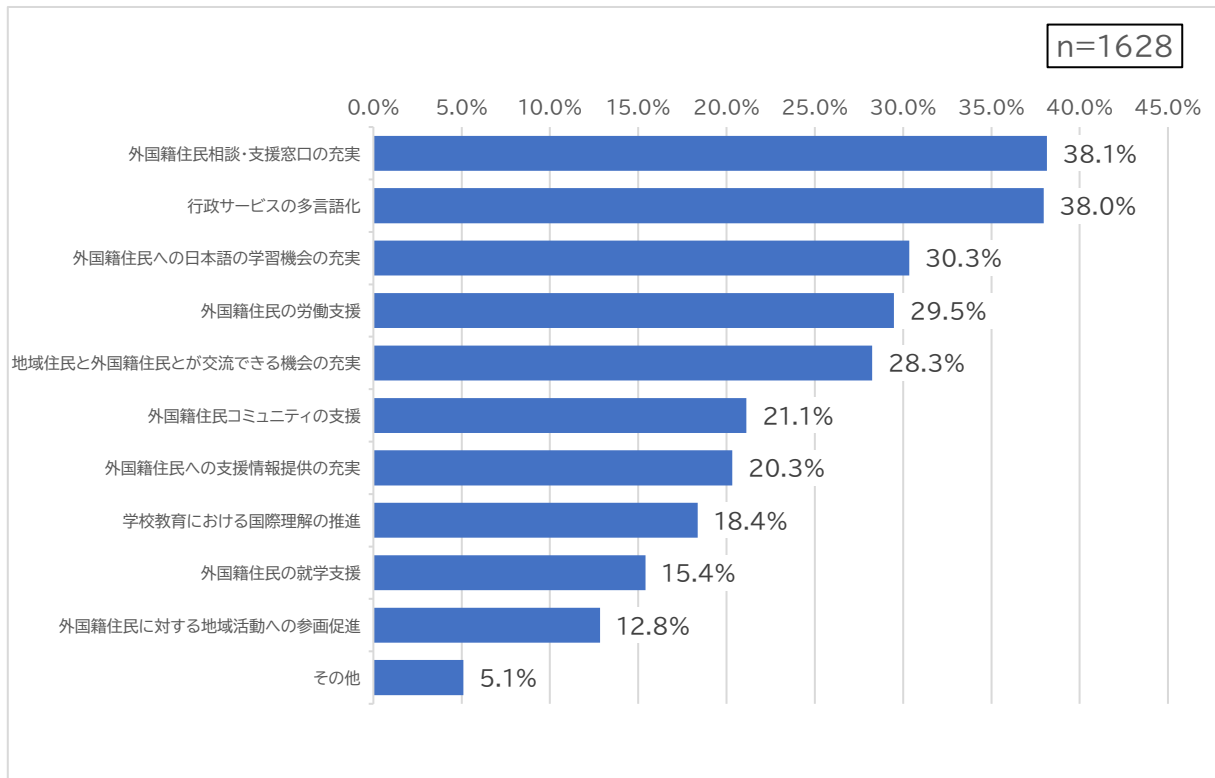
スポーツ活動を行う場について、整っていると思う(「とても思う」、「ある程度思う」)人と、整っていないと思う(「あまり思わない」、「全く思わない」)人はほぼ同数となっています。



	回答数	割合
とても思う	49	2.9%
ある程度思う	780	46.3%
あまり思わない	760	45.1%
全く思わない	95	5.6%

問28 小田原市が、外国籍住民にとって過ごしやすいまちになるためにはどういったことが必要だと思いますか。(3 つまでに○)

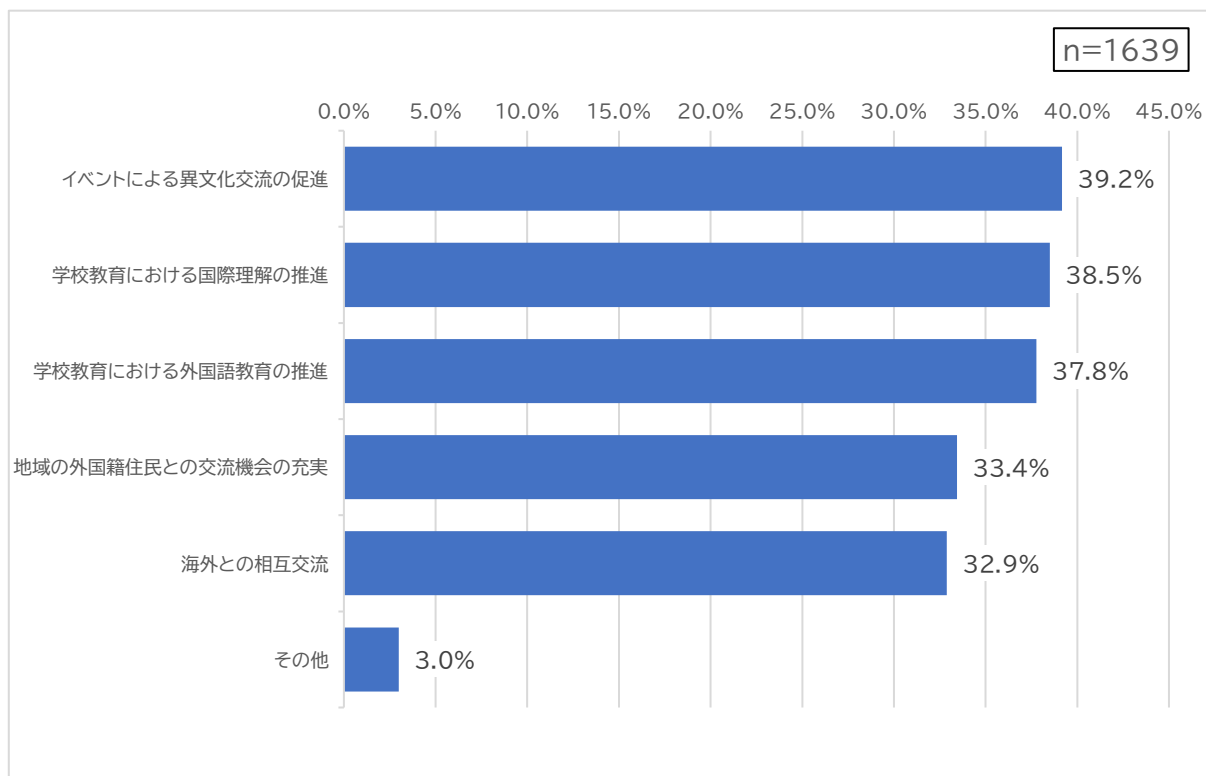
外国籍住民にとって過ごしやすいまちになるために必要なことについて、「外国籍住民相談・支援窓口」(38.1%)が最も多く、次いで「行政サービスの多言語化」(38.0%)となっています。



	回答数	割合
外国籍住民相談・支援窓口の充実	621	38.1%
行政サービスの多言語化	618	38.0%
外国籍住民への日本語の学習機会の充実	494	30.3%
外国籍住民の労働支援	480	29.5%
地域住民と外国籍住民とが交流できる機会の充実	460	28.3%
外国籍住民コミュニティの支援	344	21.1%
外国籍住民への支援情報提供の充実	331	20.3%
学校教育における国際理解の推進	299	18.4%
外国籍住民の就学支援	251	15.4%
外国籍住民に対する地域活動への参画促進	209	12.8%
その他	83	5.1%

問29 子どもたちが国際感覚を持つことに寄与する取組はどういったことだと思いますか。  
(2つまでに○)

子どもたちが国際感覚を持つことに寄与する取組について、「イベントによる異文化交流の促進」(39.2%)が最も多く、次いで「学校教育における国際理解の推進」(38.5%)、「学校教育における外国語教育の推進」(37.8%)となっています。



	回答数	割合
イベントによる異文化交流の促進	642	39.2%
学校教育における国際理解の推進	631	38.5%
学校教育における外国語教育の推進	619	37.8%
地域の外国籍住民との交流機会の充実	548	33.4%
海外との相互交流	539	32.9%
その他	49	3.0%

## 5.調査票

### 【令和4年度】小田原市のまちづくりに関する市民意識調査

～みなさまのご意見をお聞かせください～

日ごろから、市政運営に対しご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

小田原市では、2022年から2030年までの9年間を計画期間とする「第6次小田原市総合計画 2030 ロードマップ 1.0」を策定しました。これは、2030年に目指すまちの姿とその実現に向けた取組を、総合的にまとめたものです。

この度、総合計画の推進にあたり、広く市民の皆さまのご意見をお聴きするため、令和3年度に引き続き、意識調査を実施することとしました。なお、今年度の調査は、昨年度の調査項目としなかった分野を主にお伺いします。

今年度この調査を実施するにあたっては、住民基本台帳に記載されている18歳以上の市民の皆さまの中から3,000名の方を無作為に選ばせていただきました。

無記名でお答えいただき、調査結果は、「この意見の方は全体の何%」という形で集計しますので、回答者個人の情報が特定されることはありません。

また、回答いただいた内容は、総合計画の推進や市政運営全般の参考とさせていただきます。目的以外には一切使用しません。

お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださるようお願い申し上げます。

令和4年5月25日

小田原市長 守屋 輝彦

**回答方法** ※あなたのIDは【《回答ID》】です。

必ず宛て名のご本人が回答してください。（代筆可能）

所要時間は約10分（29問）です。

回答方法は以下の3つの方法から1つの方法をお選びください。

※回答用紙とオンラインにおいて、同一IDでの回答が確認された場合、回答用紙を優先します。

**(1) 調査票兼回答用紙に直接記入して回答**

- ・黒のボールペンか、濃い鉛筆などではっきりと記入してください。
- ・記入が終わりましたら、返信用封筒に、調査票兼回答用紙を入れて投函してください。
- ・返信用封筒は切手不要です。また、回答者の住所や氏名は記入しないでください。

**(2) スマートフォンでの回答**

- ・2次元コードを読み取り、専用ページから回答してください。

**(3) パソコンでの回答**

- ・下記のサイト URL を入力するか、小田原市のホームページのサイト内検索に「[p31756](#)」と入力して、専用ページにアクセスしてください。

《サイト URL》

<https://www.city.odawara.kanagawa.jp/p31756.html>

※なお、昨年度の調査結果も、上記 URL のページで確認できます。



回答期限は **6月10日（金）【必着】** です。

■ 問い合わせ先 小田原市企画部 企画政策課 企画政策係  
電話：0465-33-1253（直通）  
電子メール：kikaku@city.odawara.kanagawa.jp

# 調査票兼回答用紙

**「回答方法」に記載されている、ID を記入してください**

【          -          】

※この ID は重複回答の回避を目的としており、個人を特定するものではありません。

## **A. あなたご自身について教えてください <全 11 問>**

問 1 あなたの性別を伺います。次の中から 1 つだけ○をつけてください。

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

問 2 あなたの年齢を伺います。次の中から 1 つだけ○をつけてください。

1. 10 歳代	2. 20 歳代	3. 30 歳代	4. 40 歳代
5. 50 歳代	6. 60 歳代	7. 70 歳代	8. 80 歳代以上

問 3 あなたは配偶者がいらっしゃいますか。次の中から 1 つだけ○をつけてください。

1. 未婚	2. 既婚 (パートナー登録を含む)	3. 離別	4. 死別
-------	--------------------	-------	-------

問 4 同居の家族構成を伺います。次の中から 1 つだけ○をつけてください。

1. ひとり暮らし	2. 夫婦
3. 二世帯同居 (あなたと子供)	4. 二世帯同居 (あなたと親)
5. 三世帯同居	6. その他 (                      )

問 5 同居の家族には、次に当てはまる方がいらっしゃいますか。あなた自身を含め、次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。また、( ) 内に人数を記入してください。

1. 未就学の子ども (    人)	2. 小学生 (    人)
3. 中学生 (    人)	4. 高校生 (    人)
5. 大学生・専門学生 (    人)	6. 65～74 歳の高齢者 (    人)
7. 75 歳以上の高齢者 (    人)	8. 該当する人はいない

問 6 あなたの居住形態はどれにあたりますか。次の中から 1 つだけ○をつけてください。

1. 戸建て (持ち家)	2. 戸建て (賃貸)
3. マンション・アパート (持ち家)	4. マンション・アパート (賃貸)
5. 寮・社宅等	6. その他 (                      )

問7 あなたの住まいは、どの連合自治会区域に含まれますか。次の中から1つだけ○をつけてください。連合自治会がわからない場合は、枠外の欄に住所を記入してください。（記入例：小田原市 栄町1丁目）

1. 緑	2. 新玉	3. 万年	4. 幸	5. 十字
6. 片浦	7. 早川	8. 大窪	9. 山王網一色	10. 足柄
11. 芦子	12. 二川	13. 久野	14. 東富水	15. 富水
16. 桜井	17. 酒匂・小八幡	18. 下府中	19. 富士見	20. 豊川
21. 上府中	22. 曾我	23. 下曾我	24. 国府津	25. 前羽
26. 橋北				

※ わからない場合：（小田原市 ）※番地以下は記入不要

問8 あなたの居住歴をお聞きます。次の中から1つだけ○をつけてください。

1. 小田原市に生まれ、ずっと市内に住んでいる	2. 小田原市に生まれ、市外に出たことがある
3. 小田原市外で神奈川県内生まれである	4. 神奈川県外生まれである

問9 あなたは小田原市に居住して何年ですか。次の中から1つだけ○をつけてください。なお、一度市外に転出している場合は、通算年数でお答えください。

1. 1年未満	2. 1～5年	3. 6～10年	4. 11～20年	5. 21年以上
---------	---------	----------	-----------	----------

問10 あなたの主な就業状況について伺います。次の中から1つだけ○をつけてください。

1. 会社員	2. 公務員	3. 自営業・個人事業主
4. 会社役員	5. 専業主婦・夫	6. パート・アルバイト
7. 学生 <sup>*1</sup>	8. 無職 <sup>*2</sup>	9. その他（ ）

※1 パート・アルバイト等している学生の方は、こちらを選択してください。 ※2 年金生活者等を含みます。

問11 あなたの世帯収入（年金、配偶者の収入も含む）について伺います。次の中から1つだけ○をつけてください。

1. 100万円以下	2. 101～200万円	3. 201～400万円
4. 401～600万円	5. 601～800万円	6. 801～1000万円
7. 1001～1200万円	8. 1201万円以上	9. わからない

**B. あなたが小田原市に対して持つイメージを教えてください <全5問>**

問 12 小田原市に対してどんなイメージを持っていますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 小田原城を中心とした歴史ある城下町     | 2. 豊かな自然(森・里・川・海)に恵まれたまち |
| 3. 外国人をはじめ多くの観光客が訪れる観光都市 | 4. 箱根や伊豆の玄関口             |
| 5. なりわい(地場産業)が盛んなまち      | 6. 著名人の邸宅が多かったまち         |
| 7. 都会でも田舎でもないまち          | 8. 温暖な気候で住みやすいまち         |
| 9. 都心に近く、交通の便が良いまち       | 10. 食べ物が美味しいまち           |
| 11. 人と人のつながりが強いまち        | 12. この中にイメージするものはない      |
| 13. その他 ( )              |                          |

問 13 小田原市は、住みやすいまちですか。次の中から1つだけ○をつけてください。

- |             |              |          |              |
|-------------|--------------|----------|--------------|
| 1. とても住みやすい | 2. ある程度住みやすい | 3. 住みにくい | 4. きわめて住みにくい |
|-------------|--------------|----------|--------------|

問 14 今後も小田原市に住み続けたいですか。次の中から1つだけ○をつけてください。

- |              |             |             |             |
|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 2. 当分住み続けたい | 3. いずれ転居したい | 4. すぐに転居したい |
|--------------|-------------|-------------|-------------|

問 15-A 問 14で、「1. ずっと住み続けたい」または「2. 当分住み続けたい」を選んだ方に伺います。その理由は何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1. 周辺の居住環境が良い      | 2. 自然環境が豊か          |
| 3. 交通の便が良い         | 4. 親しい人間関係がある       |
| 5. 生まれ育ったまちだから     | 6. 通勤・通学や業務に便利      |
| 7. 買い物や通院など日常生活が便利 | 8. 防災面で安心できる        |
| 9. 子育て支援が充実        | 10. 福祉サービスが充実       |
| 11. 娯楽や余暇を楽しむ場が豊富  | 12. 歴史や伝統を感じることができる |
| 13. その他 ( )        |                     |

問 15-B 問 14で、「3. いずれ転居したい」または「4. すぐに転居したい」を選んだ方に伺います。その理由は何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| 1. 周辺の居住環境が良くない    | 2. 自然環境が豊かでない  |
| 3. 交通が不便           | 4. 人間関係に不満     |
| 5. 生まれ育ったまちではない    | 6. 通勤・通学や業務に不便 |
| 7. 買い物や通院など日常生活が不便 | 8. 防災面で不安      |
| 9. 子育て支援が不十分       | 10. 福祉サービスが不十分 |
| 11. 娯楽や余暇を楽しむ場が少ない | 12. その他 ( )    |

問 16 小田原市は、小田原の強みを生かしたまちづくりができていると思いますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

- |          |           |            |           |
|----------|-----------|------------|-----------|
| 1. とても思う | 2. ある程度思う | 3. あまり思わない | 4. 全く思わない |
|----------|-----------|------------|-----------|

## C. あなたの暮らしについて教えてください <全 13 問>

第 6 次小田原市総合計画「2030 ロードマップ 1.0」では、「医療・福祉」、「防災・減災」、「教育・子育て」、「地域経済」、「歴史・文化」、「環境・エネルギー」、「まちづくり」の 7 つの重点施策を位置付けています。

今年度の調査では、7 つの重点施策のうち、「まちづくり」、「防災・減災」、「歴史・文化」に関する内容について伺います。

### <まちづくり>

#### 総合計画における 2030 年の目標

- ・小田原駅西口・東口の民間再開発事業やストリートの形成が進み、小田原駅周辺のにぎわいが創出されている
- ・市民意識調査における小田原が住みやすいと思う人の割合 95%

問 17 あなたは、小田原駅周辺に居心地の良さを感じていますか。次の中から 1 つだけ○をつけてください。

1. とても感じている      2. 感じている      3. あまり感じない      4. 全く感じない

問 18 あなたは、小田原駅周辺ににぎわいを感じていますか。次の中から 1 つだけ○をつけてください。

1. とても感じている      2. 感じている      3. あまり感じない      4. 全く感じない

問 19 あなたは、小田原駅周辺のまちづくりには何が必要だと思いますか。次の中から 3 つまで選んで○をつけてください。

- |                  |                  |                                  |
|------------------|------------------|----------------------------------|
| 1. 歴史的資源の活用      | 2. イベントの充実       | 3. 道路や歩道の整備                      |
| 4. 小田原城などの景観整備   | 5. 花や緑などの緑化      | 6. 治安対策                          |
| 7. 公共交通機関の利便性の向上 | 8. 歩道や施設のバリアフリー化 | 9. 居住物件の充実                       |
| 10. 公共施設の充実      | 11. 商業施設の充実      | 12. 宿泊施設の充実                      |
| 13. 子育て施設の充実     | 14. 医療施設の充実      | 15. 空き家・空き店舗対策                   |
| 16. 駐車場の充実       | 17. 駐輪場の充実       | 18. その他 (                      ) |

問 20 あなたは、小田原駅周辺の居心地の良さやにぎわいの創出に向けた、今後の取組として何が効果的だと思いますか。次の中から 2 つまで選んで○をつけてください。

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 歩道の緑化や建物の外観、看板などの都市空間デザインの向上       |
| 2. 道路や歩道の有効利用によるベンチ設置や沿道の店舗スペースの拡張    |
| 3. 広場・空地などまちなかのオープンスペースを活用したイベントの実施   |
| 4. 子育てや余暇活動をまちなかで快適に行うための公園・広場・空地等の運用 |
| 5. 公園へのカフェの併設など民間事業と連携した集客性のある公共施設の運用 |
| 6. 特に必要な取組はない                         |
| 7. その他 (                      )       |



<防災・減災>

総合計画における2030年の目標

- ・防災訓練や防災知識の普及を通じて、災害時のリスクや対応を学び、逃げ遅れゼロを実現する
- ・災害時に適切な情報が多様な手段により全ての人に届いている

問 21 あなたは、ここ5年以内で防災訓練に参加したことがありますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

1. 参加したことがある      2. 参加したことがない

問 22-A 問 21 で、「1. 参加したことがある」を選んだ方に伺います。防災訓練に参加したことでどのようなことを感じましたか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

1. 防災の大切さを知るきっかけとなった      2. 災害時に自分がとるべき行動を知ることができた  
 3. 災害時に地域が行う活動を知ることができた      4. 内容が形式化しており、新たな知識は得られなかった  
 5. もっと多くの人が参加すると良い      6. 特にない  
 7. その他 ( )

問 22-B 問 21 で、「2. 参加したことがない」を選んだ方に伺います。その理由は何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

1. 内容が形式化している      2. いつ実施しているか知らなかった  
 3. 会場に行くのが大変      4. 関心がなかった  
 5. 時間が拘束される      6. 仕事などと重なった  
 7. 訓練に参加するの必要がないと判断した      8. 特に理由はない  
 9. その他 ( )

問 23 あなたは、市が配布している「わが家の避難行動マニュアル」を知っていますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

1. 内容を理解し活用している      2. 見たことがある      3. 存在は知っている      4. 知らない

問 24 あなたは、以下の自然災害が発生した際に、自宅（住んでいる場所）にどのようなリスクがあるか知っていますか。1～5まで1つに○をつけてください。

自然災害	1. 知っている	2. ある程度知っている	3. あまり知らない	4. 知らない
1 地震	1	2	3	4
2 津波	1	2	3	4
3 洪水 <sup>※1</sup>	1	2	3	4
4 高潮 <sup>※2</sup>	1	2	3	4
5 土砂災害	1	2	3	4

※1 雨などによって河川の水位や流量が急激に増大したり、氾濫すること      ※2 台風や低気圧などに伴って海面が上昇し、低地などが浸水すること

問 25 小田原市が実施する、防災対策の取組に対する満足度を教えてください。次の中から1つだけ○をつけてください。

1. とても満足      2. 満足      3. 不満      4. とても不満

## <歴史・文化>

### 総合計画における2030年の目標

- ・小田原城天守閣・歴史的風致形成建造物・観光交流センターの年間来場者数 110万人
- ・文化・芸術・スポーツに触れる機会と活動の場が整い、そのことが地域の活性化にも波及している
- ・外国籍住民等が日本語教育を受けることのできる機会が充実し、日常生活での交流が生まれているとともに、学校における外国語教育もあいまって、海外に出て学びたい、活動したいと思う子どもが増えている

問 26 小田原は、文化・芸術に触れる機会が整っていると思いますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

- |          |           |            |           |
|----------|-----------|------------|-----------|
| 1. とても思う | 2. ある程度思う | 3. あまり思わない | 4. 全く思わない |
|----------|-----------|------------|-----------|

問 27 小田原には、スポーツ活動を行う場が整っていると思いますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

- |          |           |            |           |
|----------|-----------|------------|-----------|
| 1. とても思う | 2. ある程度思う | 3. あまり思わない | 4. 全く思わない |
|----------|-----------|------------|-----------|

問 28 小田原市が、外国籍住民にとって過ごしやすいまちになるためにはどういったことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- |                           |                       |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. 行政サービスの多言語化            | 2. 外国籍住民への日本語の学習機会の充実 |
| 3. 外国籍住民相談・支援窓口の充実        | 4. 外国籍住民への支援情報提供の充実   |
| 5. 地域住民と外国籍住民とが交流できる機会の充実 | 6. 外国籍住民コミュニティの支援     |
| 7. 外国籍住民に対する地域活動への参画促進    | 8. 外国籍住民の労働支援         |
| 9. 外国籍住民の就学支援             | 10. 学校教育における国際理解の推進   |
| 11. その他 ( )               |                       |

問 29 子どもたちが国際感覚を持つことに寄与する取組はどういったことだと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1. 海外との相互交流          | 2. イベントによる異文化交流の促進 |
| 3. 学校教育における外国語教育の推進  | 4. 学校教育における国際理解の推進 |
| 5. 地域の外国籍住民との交流機会の充実 | 6. その他 ( )         |

**アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。**

最後に、今回の市民意識調査に対するご意見などがありましたら、お聞かせください。